

令和 6 年度

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ
「デザイン分野」の分析

【デザイン分野】

- ・ 公共職業訓練（委託訓練） 3 機関 4 コース
ヒアリング対象者 2 名 就職先事業所 2 事業所
- ・ 求職者支援訓練 3 機関 3 コース
ヒアリング対象者 1 名 就職先事業所 1 事業所

愛 知 県

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部

愛 知 労 働 局

公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて

目的

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて、訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図ることとする。

検証手法

検証手法は、①公的職業訓練の訓練修了者、②訓練修了者の採用企業及び③訓練実施機関に対するヒアリングにより行うものとする。

検証対象コースの選定

- ア 予め協議会にて検証対象となる訓練分野を選定しておき、WGでは当該訓練分野の中で訓練修了者が比較的多い訓練コースを3コース（ただし、異なる訓練実施機関が実施するものとする。）以上選定する。
- イ 検証対象は、アで選定したコースの訓練実施機関と、各訓練コースにつき訓練修了者1人以上、当該訓練修了者を採用した採用企業1社以上とする。具体的には、3コースを選定すると、訓練実施機関3者、訓練修了者3人以上及び採用企業3社以上が対象となる。

以上「公的職業訓練効果検証ワーキンググループ実施要領」より抜粋

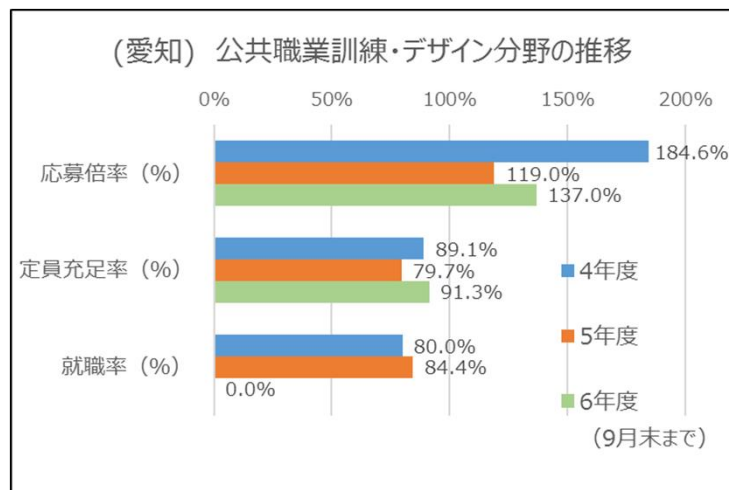
「令和6年度全国職業訓練実施計画の実施方針」において、**「応募倍率が高く、就職率が低い分野」として挙げられている「デザイン分野（主に「Webデザイン分野）」**について、**「求人ニーズに即した効果的な訓練内容であるか等の検討が必要」と**されており、これを「令和5年度第2回愛知県地域職業能力開発促進協議会」にて、令和6年度のWGの効果検証テーマに決定した。令和6年度において、愛知県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部、愛知労働局で検討し**「デザイン分野」 訓練修了者に係るアンケート調査、訓練実施機関（委託訓練：3機関、求職者支援訓練：3機関）、当該訓練修了者及び当該訓練修了者を採用企業に対してヒアリング調査を実施した。**

愛知におけるデザイン分野の訓練実施状況の推移

愛知におけるデザイン分野の訓練実施状況の推移

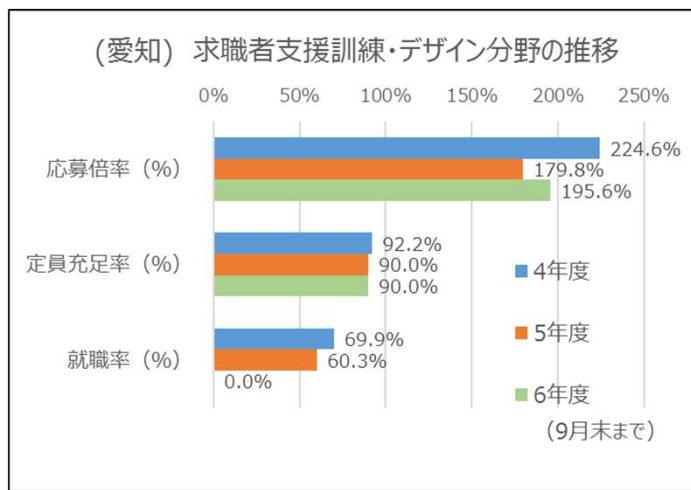
愛知・公共職業訓練・デザイン分野の推移

	4年度	5年度	6年度 (9月末まで)
コース数	10	33	17
定員数(人)	175	615	300
応募者数(人)	323	732	411
受講者数(人)	156	490	274
応募倍率(%)	184.6%	119.0%	137.0%
定員充足率(%)	89.1%	79.7%	91.3%
就職率(%)	80.0%	84.4%	-



愛知・求職者支援訓練・デザイン分野の推移

	4年度	5年度	6年度 (9月末まで)
コース数	18	22	11
定員数(人)	448	520	270
応募者数(人)	1,006	935	528
受講者数(人)	413	468	243
応募倍率(%)	224.6%	179.8%	195.6%
定員充足率(%)	92.2%	90.0%	90.0%
就職率(%)	69.9%	60.3%	-



○公共職業訓練の状況

5年度において、公共職業訓練の応募倍率は4年度から大幅に低下し、119.0% (▲65.6%) となり、定員充足率も79.7%となるなど約1割減 (▲9.4%) となった。

一方、就職率は、84.4%となり、4.4%上昇した。

6年度(9月末現在)は応募倍率は上昇し137.0%となり、定員充足率91.3%と持ち直している。

○求職者支援訓練の状況

5年度において、求職者支援訓練の応募倍率は4年度から低下し179.8% (▲44.8%) となったものの高倍率は維持できており、定員充足率は90.0% (▲2.2%) と同水準となった。一方、就職率は60.3%となり、4年度から約1割減 (▲9.6%) となった。

6年度(9月末現在)は応募倍率195.6%と上昇し、定員充足率は前年度同水準90.0%となっている。

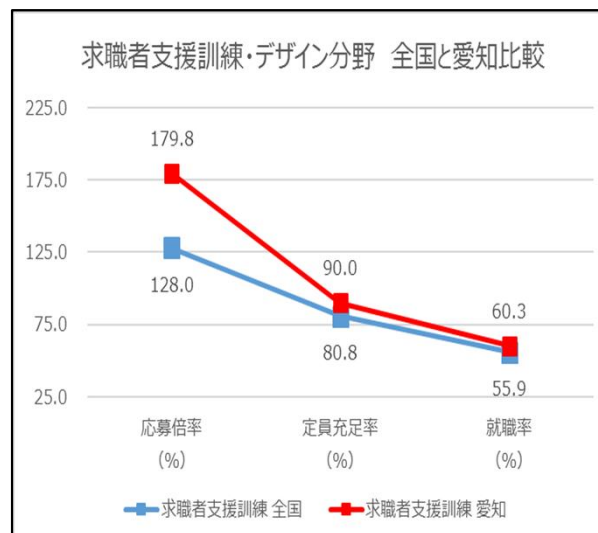
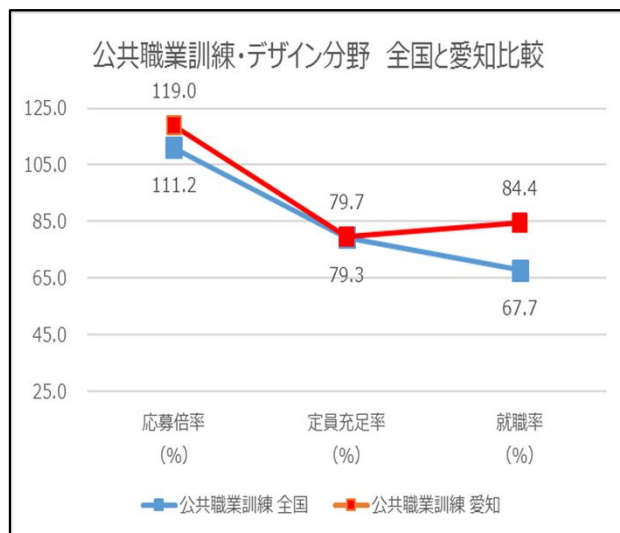
全国と愛知の実施状況の比較

令和5年度 公的職業訓練・デザイン分野の全国状況と愛知の状況の比較

		コース数	定員数 (人)	応募者数 (人)	受講者数 (人)	応募倍率 (%)	定員充足率 (%)	就職率 (%)	参考:全分野計就職率(%)
全国	公共職業訓練	377	6,567		5,209	111.2	79.3	67.7	73.6
	求職者支援訓練	687	14,810		11,964	128.0	80.8	55.9	-
愛知	公共職業訓練	33	615	732	490	119.0	79.7	84.4	79.6
	求職者支援訓練	22	520	935	468	179.8	90.0	60.3	-

※全国の就職率は令和5年12月までに終了したコースについて集計

※愛知の就職率は令和6年3月までに終了したコースについて集計



○応募倍率の比較

愛知の応募倍率は、公共職業訓練（119.0%）、求職者支援訓練（179.8%）ともに、全国の応募倍率（公共111.2%、求職128.0%）を上回っている。

○就職率の比較

愛知の就職率は、公共職業訓練は84.4%となり、全国67.7%を大きく上回っているが、一方、求職者支援訓練の就職率は60.3%となり、全国55.9%とほぼ同水準（やや上回っている状況）であり、就職率は低い。

愛知における訓練終了状況（令和5年4月～令和5年9月訓練終了）

デザイン分野 令和5年4月～令和5年9月までに終了した訓練

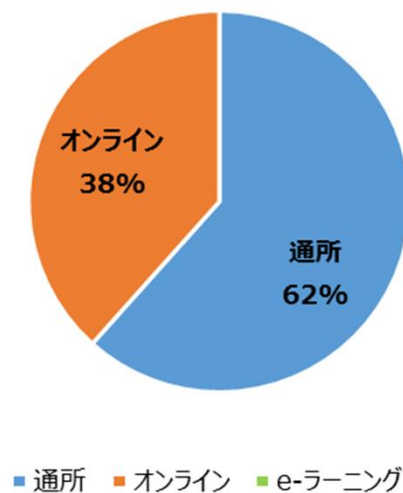
区分	①公共職業訓練（委託訓練）			②求職者支援訓練			③計（公的職業訓練全体）		
	コース数	修了者数 (アンケート対象)	構成比	コース数	修了者数 (アンケート対象)	構成比	コース数	修了者数 (アンケート対象)	構成比
通所	5	61	61.6%	6	137	62.3%	11	198	62.1%
オンライン	3	38	38.4%	1	6	2.7%	4	44	13.8%
e-ラーニング				4	77	35.0%	4	77	24.1%
合計	8	99	100.0%	11	220	100.0%	19	319	100.0%

※修了者数は修了者＋就職理由の中途退校者

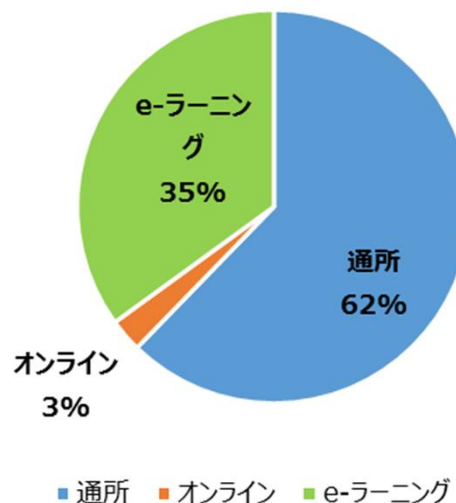
○修了者の内訳

- ・通所型の訓練の修了者が、公共職業訓練、求職者支援訓練ともに約6割。
- ・オンライン形式は公共職業訓練において、約4割占めるが、求職者支援訓練は3%程度。
- ・一方、eラーニング形式は、求職者支援訓練の35%を占めるが、公共職業訓練においては開講されていない。

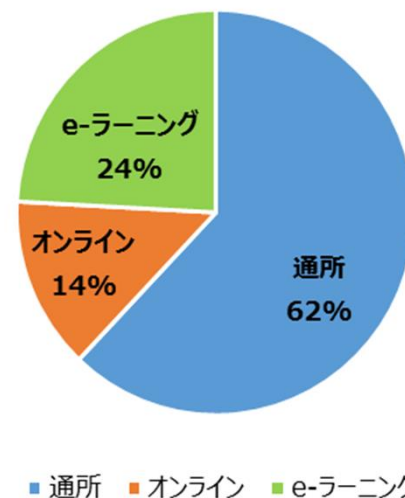
①公共職業訓練（委託訓練） 修了者数



②求職者支援訓練 修了者数



③計（公的職業訓練全体） 修了者数



効果・検証のための調査の実施

1 訓練修了者へのアンケート調査の実施（令和6年6月～7月実施）

（対象者） デザイン分野の訓練修了者

（期間） 令和5年4月から令和5年9月末までの間に修了した者（就職退校含む）

（対象者数） 公共職業訓練（委託訓練）99名 求職者支援訓練 220名

（内容） 就職状況など修了者の現状把握、カリキュラム意見等

（実施方法） 文書による書面依頼（郵送）（令和6年6月発送）

回答方法は次のいずれか

①返信用封筒による書面回答

②オンラインサイト（WEBCAS）による回答

（アンケートの収集状況）

回答数	公共職業訓練（委託訓練）29名（郵送数 99名）	回収率29.3%
	求職者支援訓練 72名（郵送数220名）	回収率32.7%
	計 101名（郵送数319名）	回収率31.7%

2 訓練修了者への個別ヒアリングの実施（令和6年8月実施）

（対象者） 訓練修了者アンケート調査回答者から選定（ヒアリング可能との回答を得た者から選定）

（実施状況等） 令和6年8月 公共職業訓練（委託訓練）2名（事業所訪問調査時に併せて実施）

令和6年8月 求職者支援訓練 1名（電話により実施）

3 企業ヒアリング調査の実施（令和6年8月実施）

（対 象 者） WEB関連企業

訓練修了者就職（採用）企業、訓練修了者応募不採用企業
（受講者アンケートなどにより把握した企業を対象）

（実施状況等） ・ 訓練修了者就職（採用）企業（令和6年8月事業所訪問により実施）

公共職業訓練（委託訓練） 2 事業所

求職者支援訓練 1 事業所

・ 訓練修了者応募不採用企業（令和6年8月実施）

69 事業所に対してアンケート調査実施（郵送による調査依頼）

回答方法は返信用封筒による書面回答及びオンラインサイト（WEBCAS）による回答

回収状況 10 事業所（調査依頼数69事業所） 回収率 14.5%

4 訓練実施機関へのヒアリング調査の実施（令和6年8月実施）

（実施方法） 各訓練機関へ訪問ヒアリング

・ 公共職業訓練（委託訓練） 2機関

・ 求職者支援訓練 3機関

調査対象とする訓練コース

① 公共職業訓練	「Webマーケティングデザイナー養成科」	Webスキルに必要なhtml/cssのコーディングの基礎技術、デザイン業務に必要なillustrator・Photoshopの基本操作を学び、企業が求める「マーケティングのできるデザイナー」を目指す。（企業実習2か月）
	通所型・6か月（企業実習2か月）	
② 公共職業訓練	「マーケティングデザイナー科」（知識等習得コース3ヶ月）	デザイン業務に必要なillustrator・Photoshopの基本操作を学ぶとともに「マーケティングとプレゼンのスキルを身につけマーケティングができる企画提案型デザイナー」の養成を目指す。
	通所型・3か月	
③ 公共職業訓練	ビジネスデザインマーケティング科	illustrator・Photoshopの基本操作から実践までを学ぶとともに、マーケティングと企画提案プレゼンスキルを身につける。
	オンライン・3か月	
④ 公共職業訓練	「SNSマーケティング制作科」	DX化が進んでいく時代を見据え、今後に通用するillustratorやPhotoshopの制作技術と併せてSNSの使い方などを習得し新しい時代に必要の人材を目指す。
	オンライン・3か月	
A 求職者支援訓練	「Webデザイナー科」（実践コース）	Webデザインの基本技術、グラフィック制作・画像処理ソフトによる制作技術、HPの制作技術、WebライティングなどのWebデザイナー、Webディレクターに必須となる知識・技能・技術を習得する。
	通所・5か月	
B 求職者支援訓練	「広報/事務で活躍できるWebデザイナー養成科（e-ラーニング）」（実践コース）	Webサイトの構築に必要な素材の作成、HTML/CSSコーディング、静的/動的サイト制作及び保守・運用に関する基礎知識及び技能・スキルを習得する。（e-ラーニング・オンライン対応コース）
	eラーニング・2か月	
C 求職者支援訓練	「Webデザインマーケティングオンライン科（短時間）」（実践コース）	デザイン業務に必要なPhotoshopの基本操作から応用、デザイン実践を学ぶとともにマーケティングの知識を活用したデザイン構築ができるスキルを身につける。（オンライン対応コース 短時間）
	オンライン・短時間・3か月	

訓練修了者アンケート調査結果① 訓練選定理由・志望動機

	計	訓練形式		訓練期間		5～6か月	3か月以下
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング		
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問1 (1) コース選定理由 (複数回答可)							
①訓練内容	88.1%	96.6%	84.7%	94.4%	80.9%	93.8%	83.0%
②通学の利便性	14.9%	13.8%	15.3%	18.5%	10.6%	20.8%	9.4%
③オンライン(eラーニング)受講可能	45.5%	34.5%	50.0%	1.9%	95.7%	2.1%	84.9%
④施設環境が良かった	5.0%	10.3%	2.8%	5.6%	4.3%	4.2%	5.7%
⑤短時間受講	7.9%	6.9%	8.3%	1.9%	14.9%	2.1%	13.2%
⑥託児可能	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦訓練機関の知名度や評判	5.9%	10.3%	4.2%	3.7%	8.5%	2.1%	9.4%
⑧その他	1.0%	3.4%	0.0%	1.9%	0.0%	2.1%	0.0%
(3) その理由 (複数回答可)							
①就職に有利	36.6%	34.5%	37.5%	37.0%	36.2%	37.5%	35.8%
②興味があった	86.1%	82.8%	87.5%	81.5%	91.5%	81.3%	90.6%
③その他	4.0%	6.9%	2.8%	5.6%	2.1%	4.2%	3.8%

○コースを選定した理由として「訓練内容」を上げる者が約9割であった。(すべてのコースで8割以上)

○オンライン・eラーニングコースでは、「オンライン受講可能」が95.7%となり、「訓練内容」(80.9%)を上回った。

○また、志望動機について、「興味があった」とする者が9割弱(86.1%)を占め、次いで「就職に有利」とする者が4割弱(36.6%)占めた。

⇒就職に有利など具体的に就職に資するイメージを持ち受講する者よりも、訓練内容に興味・関心を持ち受講する者が多い。

訓練修了者アンケート調査結果② 訓練期間・訓練時間

※項目下段の数はアンケート回答数	計 101	公共職業 訓練 計 29	求職者支援 訓練 計 72	訓練形式		訓練期間	
				通所型 54	オンライン・ eラーニング 47	5～6か月 48	3か月以下 53
(４) 訓練期間や時間は適切でしたか							
・期間							
①ちょうどよかった	54.5%	69.0%	48.6%	51.9%	57.4%	52.1%	56.6%
②長く感じた	3.0%	0.0%	4.2%	3.7%	2.1%	4.2%	1.9%
③短く感じた	42.6%	31.0%	47.2%	44.4%	40.4%	43.8%	41.5%
・時間							
①ちょうどよかった	84.2%	93.1%	80.6%	85.2%	83.0%	83.3%	84.9%
②長く感じた	7.9%	0.0%	11.1%	7.4%	8.5%	8.3%	7.5%
③短く感じた	7.9%	6.9%	8.3%	7.4%	8.5%	8.3%	7.5%
・時期							
①ちょうどよかった	95.0%	96.6%	94.4%	94.4%	95.7%	93.8%	96.2%
②ほかの時期がよかった	4.0%	3.4%	4.2%	3.7%	4.3%	4.2%	3.8%
③無回答	1.0%	0.0%	1.4%	1.9%	0.0%	2.1%	0.0%

○訓練期間について、「ちょうどよかった」とする者（54.5%）と「短く感じた」とする者（42.6%）、それぞれ約半数占めた。

○求職者支援訓練、通所型、訓練期間が比較的長いコースにおいて、「短く感じた」とする者がやや多く、オンライン・eラーニング、3か月以下のコースにおいては、「短く感じた」とする者の割合がやや少なくなる傾向が見受けられる。

訓練修了者アンケート調査結果③ 就職の状況

	計	訓練形式		訓練期間			
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング	5～6か月	3か月以下
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問 3 訓練修了後、就職しましたか							
①就職した	69.3%	79.3%	65.3%	77.8%	59.6%	75.0%	64.2%
②就職したが退職	9.9%	6.9%	11.1%	9.3%	10.6%	10.4%	9.4%
③自営開始	8.9%	10.3%	8.3%	7.4%	10.6%	8.3%	9.4%
④自営開始したが廃業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤就職していない	11.9%	3.4%	15.3%	5.6%	19.1%	6.3%	17.0%
1週間の労働時間							
① 10H未満	12.5%	12.0%	12.7%	12.8%	12.1%	14.6%	10.3%
② 10～20H未満	17.5%	4.0%	23.6%	6.4%	33.3%	7.3%	28.2%
③ 20H以上	67.5%	80.0%	61.8%	80.9%	48.5%	78.0%	56.4%
④無回答	2.5%	4.0%	1.8%	0.0%	6.1%	0.0%	5.1%
Webデザイン関係の業務ですか							
①Webデザイン関係業務メイン	12.7%	8.0%	14.8%	12.8%	12.5%	12.2%	13.2%
②主は他の業務だがWebデザイン業務も行っている	19.0%	20.0%	18.5%	19.1%	18.8%	22.0%	15.8%
③Webデザイン関係ではない業務	67.1%	68.0%	66.7%	68.1%	65.6%	65.9%	68.4%
④無回答	1.3%	4.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	2.6%

○アンケート調査した者のうち就職した者（退職者含む）の割合は、公共職業訓練受講者86.2%（79.3%+6.9%）が求職者支援訓練76.4%（65.3%+11.1%）よりも高く、全体で79.2%（69.3%+9.9%）であった。

○オンライン・eラーニング、訓練期間3か月以下については、未就職者割合が約2割と高く、また、1週間の労働時間が20時間以上となる就職をした者の割合が低い。

○全体の傾向として、Webデザイン関連業務への就職者は少なく、約7割が「Web関連業務以外」での就職であった。

訓練修了者アンケート調査結果④ 就職支援の状況

	計	訓練形式		訓練期間			
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング	5～6か月	3か月以下
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問 2 訓練施設のキャリアコンは有効でしたか							
①はい	86.1%	100.0%	80.6%	85.2%	87.2%	83.3%	88.7%
②いいえ	12.9%	0.0%	18.1%	13.0%	12.8%	14.6%	11.3%
③無回答	1.0%	0.0%	1.4%	1.9%	0.0%	2.1%	0.0%
質問 4 就職の応募経路							
①ハローワーク	16.3%	20.0%	14.5%	17.0%	15.2%	17.1%	15.4%
②訓練実施機関	8.8%	8.0%	9.1%	12.8%	3.0%	12.2%	5.1%
③民間求人サイトなど	48.8%	44.0%	50.9%	46.8%	51.5%	48.8%	48.7%
④その他	23.8%	20.0%	25.5%	23.4%	24.2%	22.0%	25.6%
質問 1 2 求職活動でハローワークを利用したかどうか							
①利用した	74.3%	72.4%	75.0%	77.8%	70.2%	79.2%	69.8%
②利用しなかった	21.8%	20.7%	22.2%	18.5%	25.5%	18.8%	24.5%
③無回答	4.0%	6.9%	2.8%	3.7%	4.3%	2.1%	5.7%

○9割近くの者が訓練施設におけるキャリアコンサルティングは有効だったと回答。

○求職活動でハローワークを利用した者は7割を超えた（74.3%）が、就職の応募経路としては、1割後半（16.3%）にとどまった。

○一方、民間求人サイトを利用により応募する者が約半数（48.8%）を占める状況となっている。

訓練修了者アンケート調査結果⑤ 求人応募不調者の状況

	計	訓練形式		訓練期間			
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング	5～6か月	3か月以下
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問 1 0 (2) 就職できなかった（しなかった）理由（複数回答可）							
①個人的都合（体調不良、家庭事情等を含む）	60.0%	0.0%	64.3%	40.0%	70.0%	40.0%	70.0%
②訓練内容を活かせる仕事が無かった	26.7%	0.0%	28.6%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%
③勤務条件（給与、勤務時間等）が合わない	20.0%	100.0%	14.3%	0.0%	30.0%	0.0%	30.0%
④求人情報収集できなかった	13.3%	0.0%	14.3%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%
⑤その他	33.3%	0.0%	35.7%	40.0%	30.0%	40.0%	30.0%
質問 1 1 どうしたら就職に結びついたか（複数回答可）							
①求人情報	30.0%	0.0%	31.6%	0.0%	42.9%	0.0%	42.9%
②訓練内容をブラッシュアップする情報	45.0%	0.0%	47.4%	50.0%	42.9%	50.0%	42.9%
③業界情報	40.0%	0.0%	42.1%	66.7%	28.6%	66.7%	28.6%
④就職支援機関の情報	30.0%	100.0%	26.3%	33.3%	28.6%	33.3%	28.6%
⑤その他	10.0%	0.0%	10.5%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%

○求人応募不調理由として、個人的都合を上げる者が多く（60.0%）、オンライン・eラーニングコースにおいては、70.0%の者が理由にあげている。

○就職に結びつけるために必要なこととして、訓練内容をブラッシュアップする（磨き上げるための）情報を必要とする者が多く（45.0%）、次いで「業界情報」が必要とする者（40.0%）が多かった。

○通所型、訓練期間5～6カ月のコースを受講した者ほど「業界情報」を必要としている結果となった。

訓練修了者アンケート調査結果⑥ 求人応募不調者の状況

	計	訓練形式		訓練期間		5～6か月	3か月以下
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング		
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問 1 3 求人応募不採用の状況							
応募経路							
①ハローワーク	33.3%	43.5%	25.0%	37.9%	27.3%	37.5%	29.6%
②訓練実施機関	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③民間求人サイトなど	60.8%	47.8%	71.4%	51.7%	72.7%	54.2%	66.7%
④その他	5.9%	8.7%	3.6%	10.3%	0.0%	8.3%	3.7%
訓練内容との関係性							
①あり	66.7%	77.3%	56.5%	66.7%	66.7%	65.2%	68.2%
②なし	33.3%	22.7%	43.5%	33.3%	33.3%	34.8%	31.8%
不採用理由							
①勤務条件（給与、勤務時間等）が合わない	8.2%	9.1%	7.4%	7.1%	9.5%	8.3%	8.0%
②スキルまたは経験不足	32.7%	36.4%	29.6%	32.1%	33.3%	33.3%	32.0%
③不明	32.7%	27.3%	37.0%	32.1%	33.3%	29.2%	36.0%
④その他	26.5%	27.3%	25.9%	28.6%	23.8%	29.2%	24.0%

○求人応募不調者の応募経路の約 6 割（60.8%）は民間求人サイト利用であり、約 3 割（33.3%）がハローワーク利用であった。

○7 割近くの者（66.7%）が関連就職を目指したが、約 3 割（32.7%）の者が「スキル又は経験不足」を理由に不採用となっている。（理由不明の者も 3 割を超えている）

訓練修了者アンケート調査結果⑦ カリキュラム等への要望

	計	訓練形式		訓練期間		5～6か月	3か月以下
		公共職業 訓練 計	求職者支援 訓練 計	通所型	オンライン・ eラーニング		
※項目下段の数はアンケート回答数	101	29	72	54	47	48	53
質問 9 訓練で学んでおくべきだったスキルや技能はどんなことですか							
①最新のソフト	16.8%	27.6%	12.5%	11.1%	23.4%	12.5%	20.8%
②他のソフト	17.8%	10.3%	20.8%	20.4%	14.9%	20.8%	15.1%
③業界情報	22.8%	31.0%	19.4%	25.9%	19.1%	27.1%	18.9%
④その他	20.8%	24.1%	19.4%	22.2%	19.1%	20.8%	20.8%
その理由							
①現在の仕事に必要	24.8%	27.6%	23.6%	25.9%	23.4%	27.1%	22.6%
②今後業務に必要となる	9.9%	17.2%	6.9%	9.3%	10.6%	8.3%	11.3%
③興味がある	22.8%	20.7%	23.6%	27.8%	17.0%	29.2%	17.0%
④その他	10.9%	10.3%	11.1%	11.1%	10.6%	10.4%	11.3%

○訓練で学んでおくべきだったスキル等について、「業界情報」を上げる者（22.8%）が最も多く、特に通所型、5～6か月コースの者が上げる割合が高かった。

○また、「最新ソフト」（16.8%）、「他のソフト」（17.8%）を学びたかったという者も一定数いたが、その理由として、「現在の仕事に必要」（24.8%）との回答がある一方、「興味がある」（22.8%）との回答する者も多い結果となった。

訓練修了者アンケート調査結果⑧ 訓練カリキュラムの活用状況

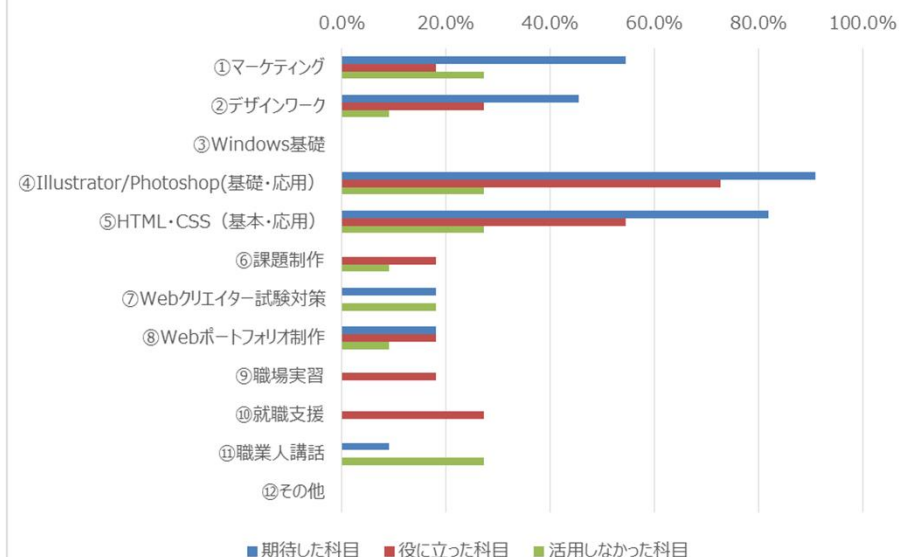
① 公共職業訓練（回答11件）通所 6か月（企業実習2か月付）

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①マーケティング	54.5%	18.2%	27.3%
②デザインワーク	45.5%	27.3%	9.1%
③Windows基礎	0.0%	0.0%	0.0%
④Illustrator/Photoshop(基礎・応用)	90.9%	72.7%	27.3%
⑤HTML・CSS（基本・応用）	81.8%	54.5%	27.3%
⑥課題制作	0.0%	18.2%	9.1%
⑦Webクリエイター試験対策	18.2%	0.0%	18.2%
⑧Webポートフォリオ制作	18.2%	18.2%	9.1%
⑨職場実習	0.0%	18.2%	0.0%
⑩就職支援	0.0%	27.3%	0.0%
⑪職業人講話	9.1%	0.0%	27.3%
⑫その他	0.0%	0.0%	0.0%

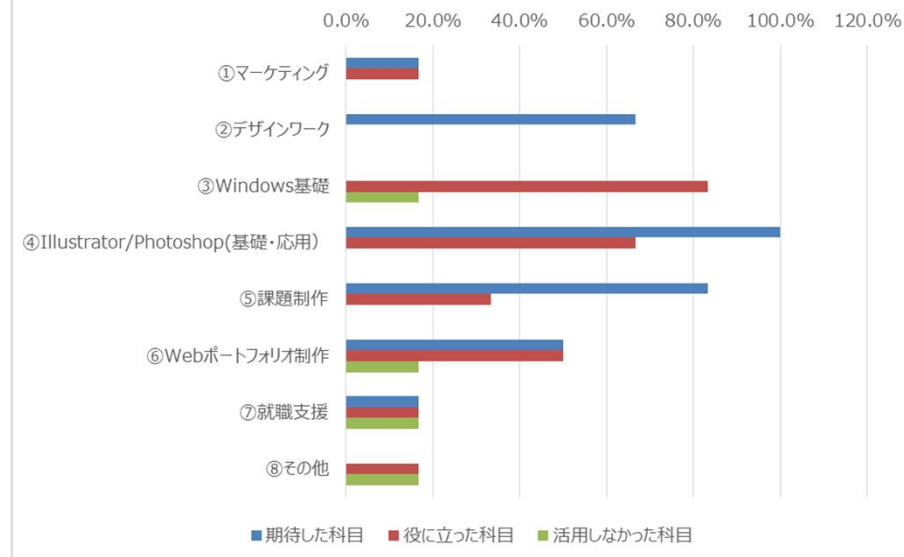
② 公共職業訓練（回答6件）通所型 3か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①マーケティング	16.7%	16.7%	0.0%
②デザインワーク	66.7%	0.0%	0.0%
③Windows基礎	0.0%	83.3%	16.7%
④Illustrator/Photoshop(基礎・応用)	100.0%	66.7%	0.0%
⑤課題制作	83.3%	33.3%	0.0%
⑥Webポートフォリオ制作	50.0%	50.0%	16.7%
⑦就職支援	16.7%	16.7%	16.7%
⑧その他	0.0%	16.7%	16.7%

①公共職業訓練 通所 6か月（企業実習 2か月付）



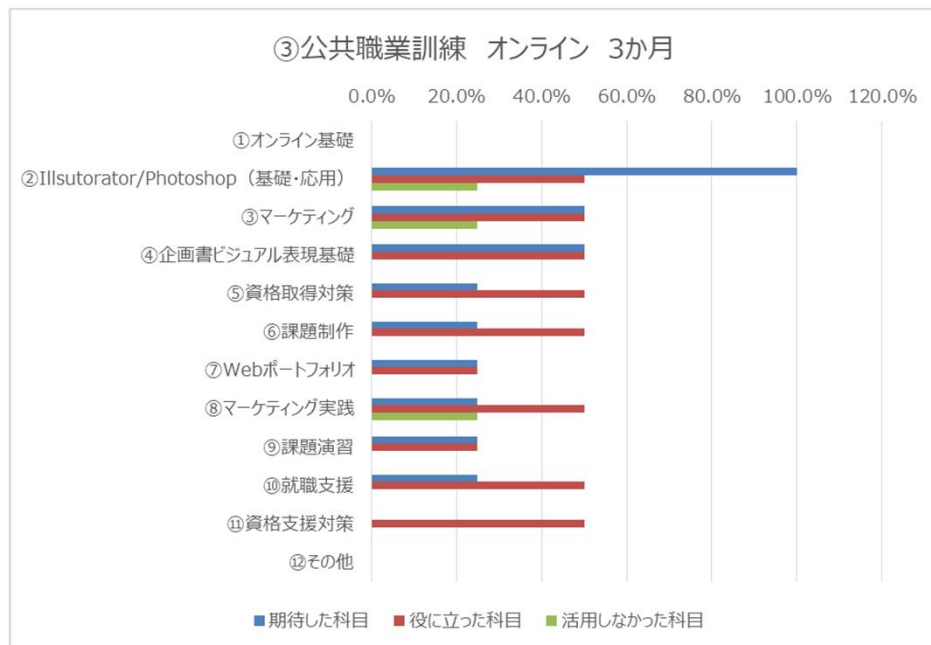
②公共職業訓練 通所 3か月



訓練修了者アンケート調査結果⑨ 訓練カリキュラムの活用状況

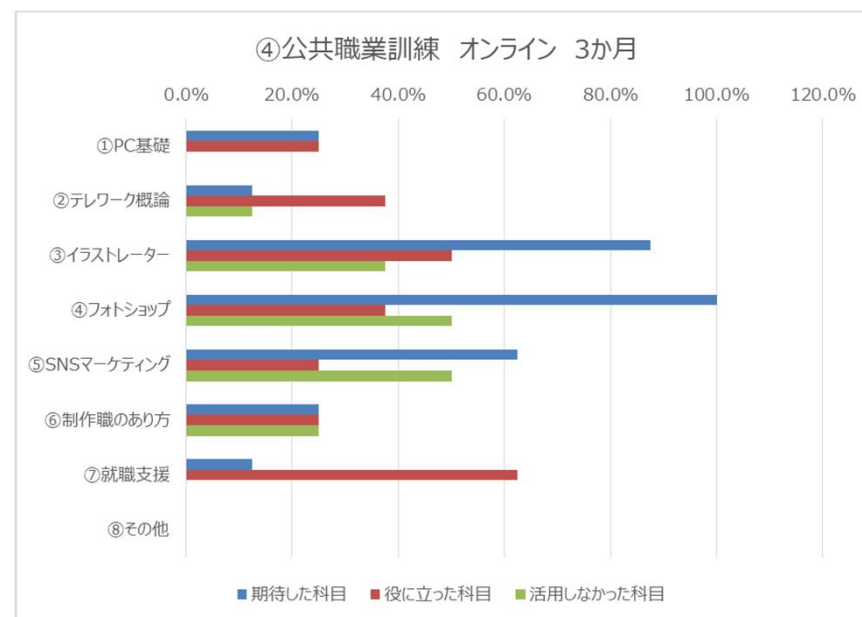
③ 公共職業訓練（回答4件）オンライン 3か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①オンライン基礎	0.0%	0.0%	0.0%
②Illustrator/Photoshop（基礎・応用）	100.0%	50.0%	25.0%
③マーケティング	50.0%	50.0%	25.0%
④企画書ビジュアル表現基礎	50.0%	50.0%	0.0%
⑤資格取得対策	25.0%	50.0%	0.0%
⑥課題制作	25.0%	50.0%	0.0%
⑦Webポートフォリオ	25.0%	25.0%	0.0%
⑧マーケティング実践	25.0%	50.0%	25.0%
⑨課題演習	25.0%	25.0%	0.0%
⑩就職支援	25.0%	50.0%	0.0%
⑪資格支援対策	0.0%	50.0%	0.0%
⑫その他	0.0%	0.0%	0.0%



④ 公共職業訓練（回答8件）オンライン 3か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①PC基礎	25.0%	25.0%	0.0%
②テレワーク概論	12.5%	37.5%	12.5%
③イラストレーター	87.5%	50.0%	37.5%
④フォトショップ	100.0%	37.5%	50.0%
⑤SNSマーケティング	62.5%	25.0%	50.0%
⑥制作職のあり方	25.0%	25.0%	25.0%
⑦就職支援	12.5%	62.5%	0.0%
⑧その他	0.0%	0.0%	0.0%



訓練修了者アンケート調査結果⑩ 訓練カリキュラムの活用状況

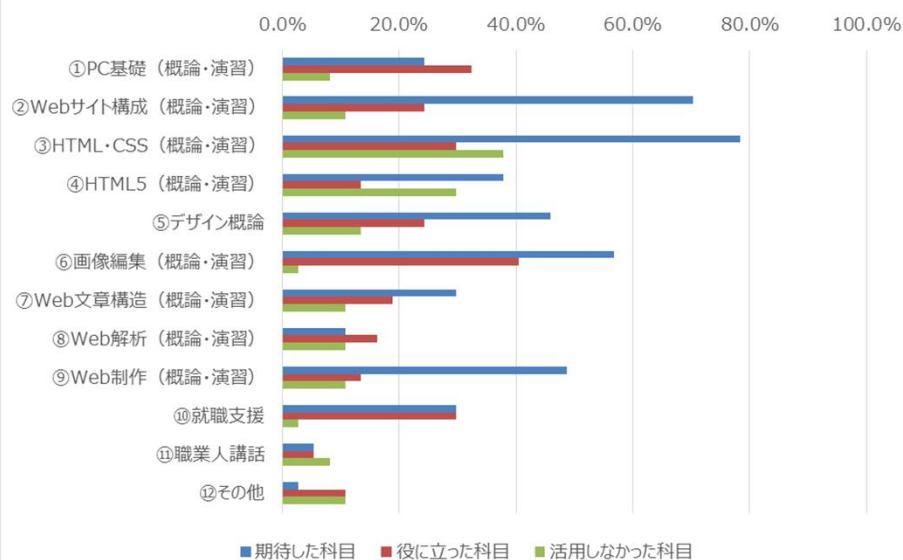
A 求職者支援訓練（回答37件）通所型 5か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①PC基礎（概論・演習）	24.3%	32.4%	8.1%
②Webサイト構成（概論・演習）	70.3%	24.3%	10.8%
③HTML・CSS（概論・演習）	78.4%	29.7%	37.8%
④HTML5（概論・演習）	37.8%	13.5%	29.7%
⑤デザイン概論	45.9%	24.3%	13.5%
⑥画像編集（概論・演習）	56.8%	40.5%	2.7%
⑦Web文章構造（概論・演習）	29.7%	18.9%	10.8%
⑧Web解析（概論・演習）	10.8%	16.2%	10.8%
⑨Web制作（概論・演習）	48.6%	13.5%	10.8%
⑩就職支援	29.7%	29.7%	2.7%
⑪職業人講話	5.4%	5.4%	8.1%
⑫その他	2.7%	10.8%	10.8%

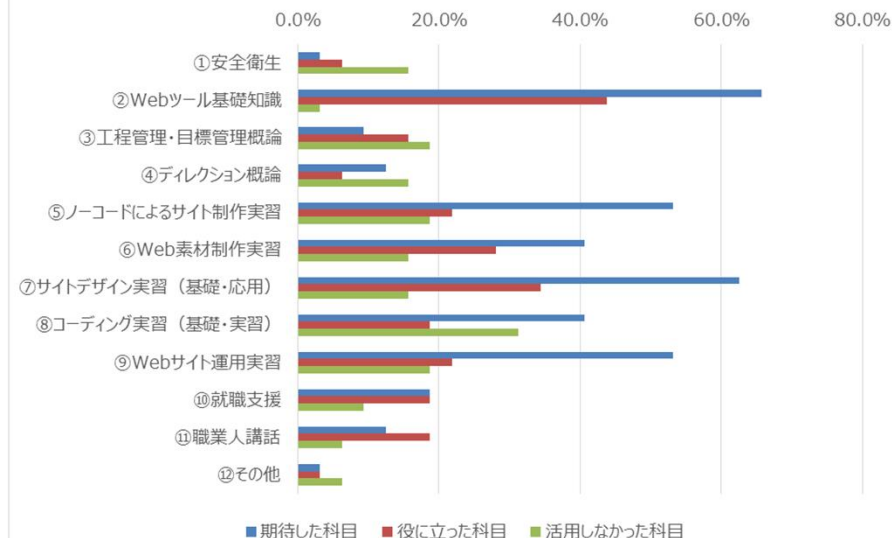
B 求職者支援訓練（回答32件）eラーニング 2か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①安全衛生	3.1%	6.3%	15.6%
②Webツール基礎知識	65.6%	43.8%	3.1%
③工程管理・目標管理概論	9.4%	15.6%	18.8%
④ディレクション概論	12.5%	6.3%	15.6%
⑤ノーコードによるサイト制作実習	53.1%	21.9%	18.8%
⑥Web素材制作実習	40.6%	28.1%	15.6%
⑦サイトデザイン実習（基礎・応用）	62.5%	34.4%	15.6%
⑧コーディング実習（基礎・実習）	40.6%	18.8%	31.3%
⑨Webサイト運用実習	53.1%	21.9%	18.8%
⑩就職支援	18.8%	18.8%	9.4%
⑪職業人講話	12.5%	18.8%	6.3%
⑫その他	3.1%	3.1%	6.3%

A 求職者支援訓練 通所 5か月



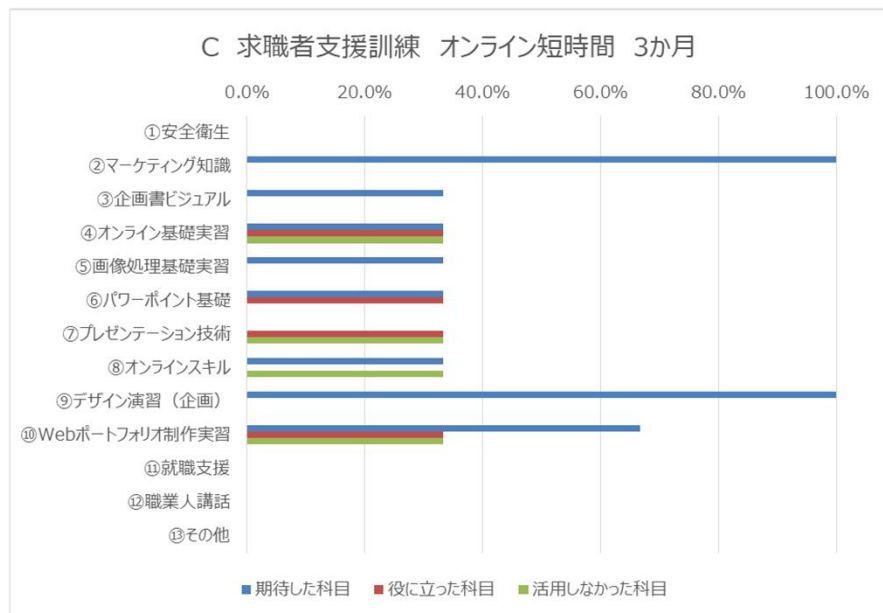
B 求職者支援訓練 eラーニング 2か月



訓練修了者アンケート調査結果⑪ 訓練カリキュラムの活用状況

C 求職者支援訓練（回答3件） オンライン短時間 3か月

カリキュラム	期待した科目	役に立った科目	活用しなかった科目
①安全衛生	0.0%	0.0%	0.0%
②マーケティング知識	100.0%	0.0%	0.0%
③企画書ビジュアル	33.3%	0.0%	0.0%
④オンライン基礎実習	33.3%	33.3%	33.3%
⑤画像処理基礎実習	33.3%	0.0%	0.0%
⑥パワーポイント基礎	33.3%	33.3%	0.0%
⑦プレゼンテーション技術	0.0%	33.3%	33.3%
⑧オンラインスキル	33.3%	0.0%	33.3%
⑨デザイン演習（企画）	100.0%	0.0%	0.0%
⑩Webポートフォリオ制作実習	66.7%	33.3%	33.3%
⑪就職支援	0.0%	0.0%	0.0%
⑫職業人講話	0.0%	0.0%	0.0%
⑬その他	0.0%	0.0%	0.0%

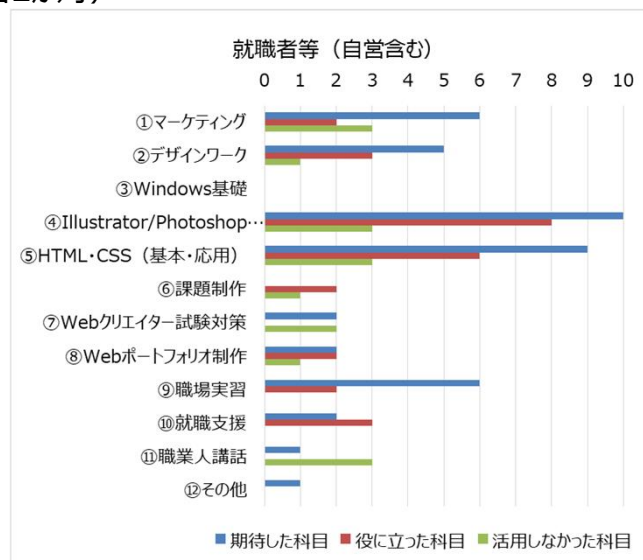
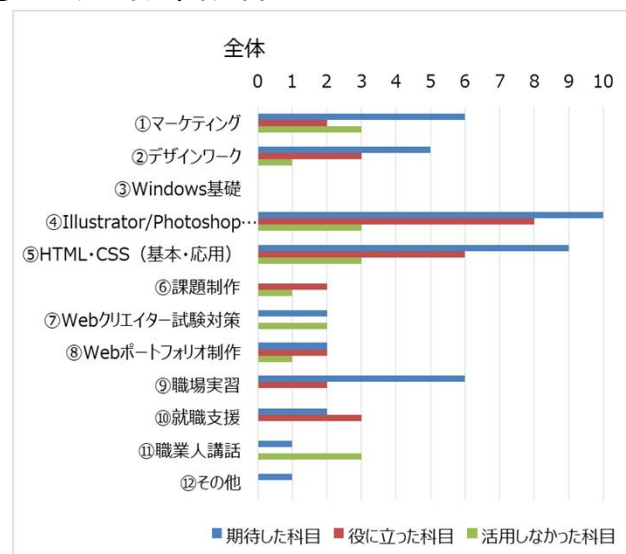


○全般的にイラストレーター、フォトショップなど画像、編集カリキュラムに期待する者が多いが、訓練修了後に「活用しなかった」とする者が一定数いるなど、個々の習得状況に差異がある可能性があると思われること。

○HTMLを学ぶカリキュラムも同様に習得を期待する割合とその後の活用状況について差異があること。

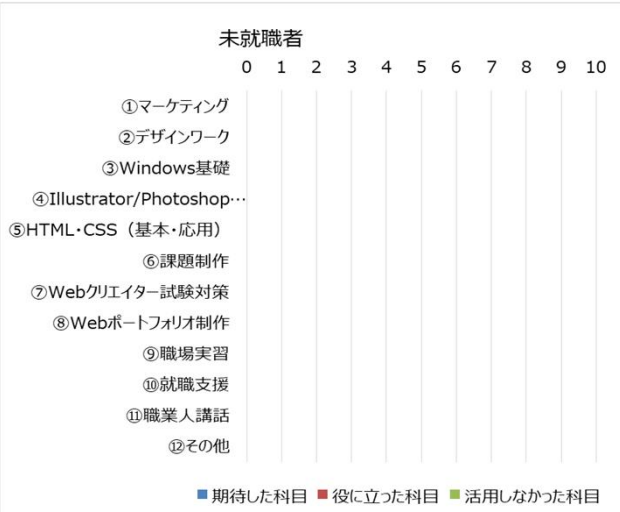
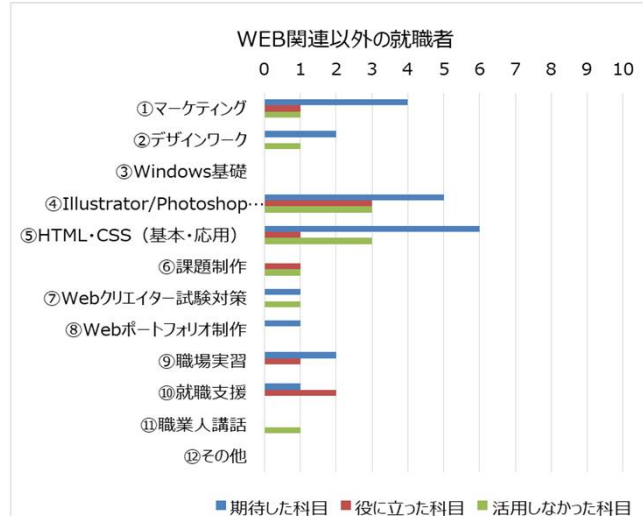
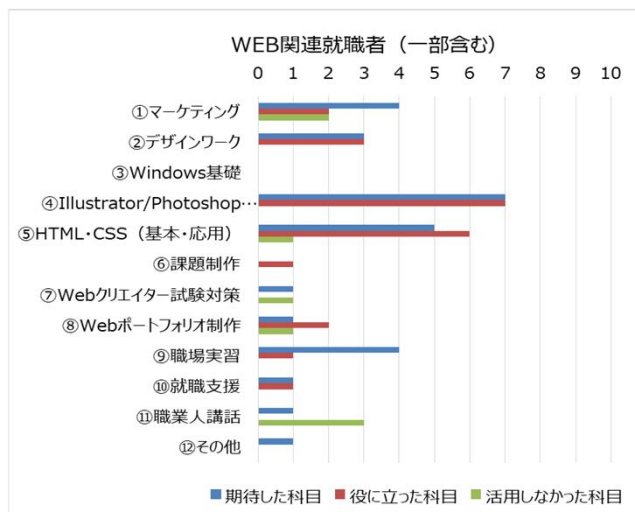
訓練修了者アンケート調査結果⑫ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

① 公共職業訓練 通所型・6か月（企業実習2か月）



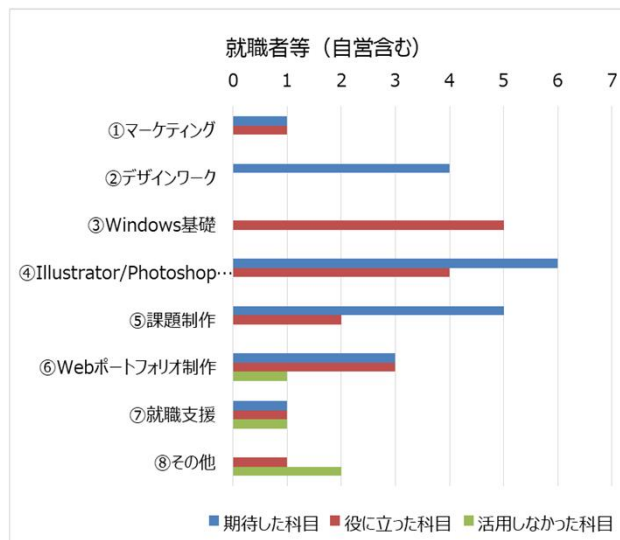
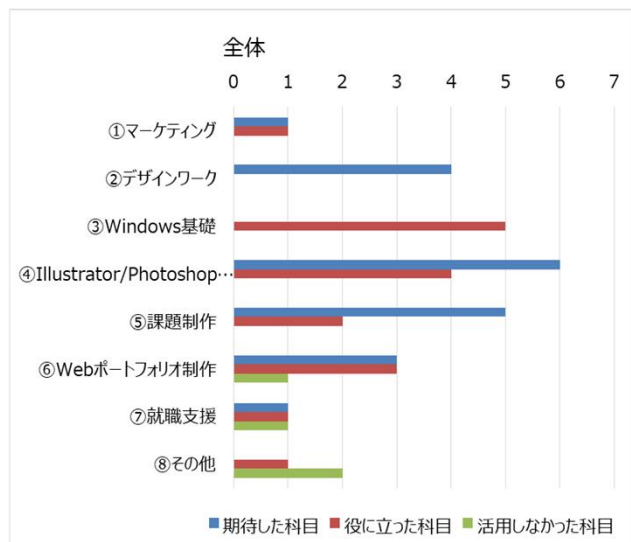
○Web関連就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が少ない。

○Web関連以外就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が大きい。



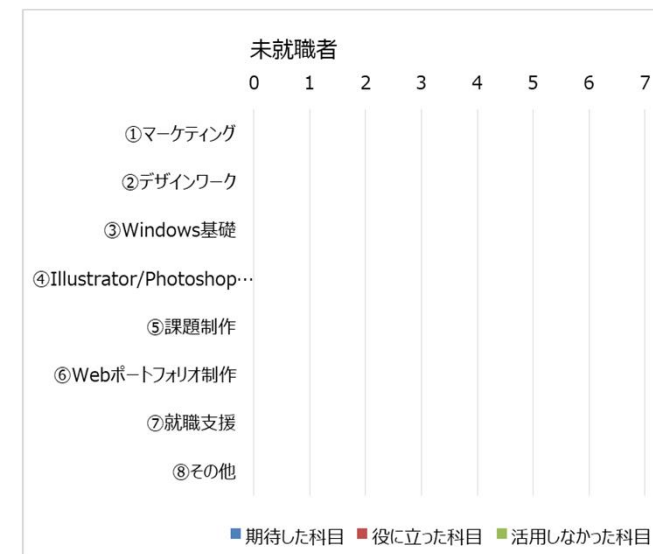
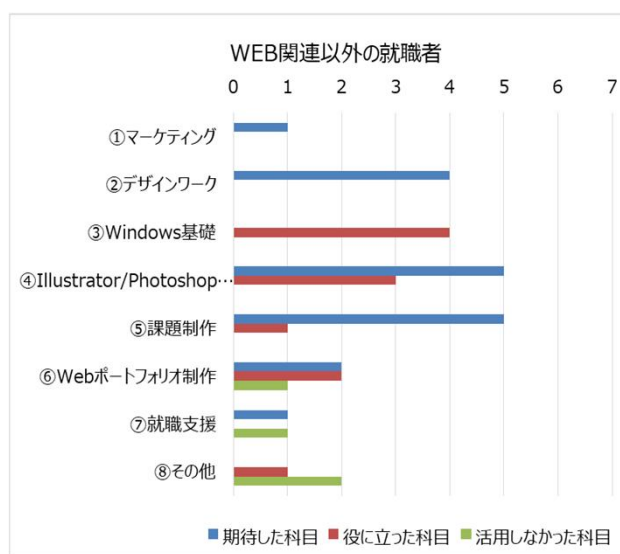
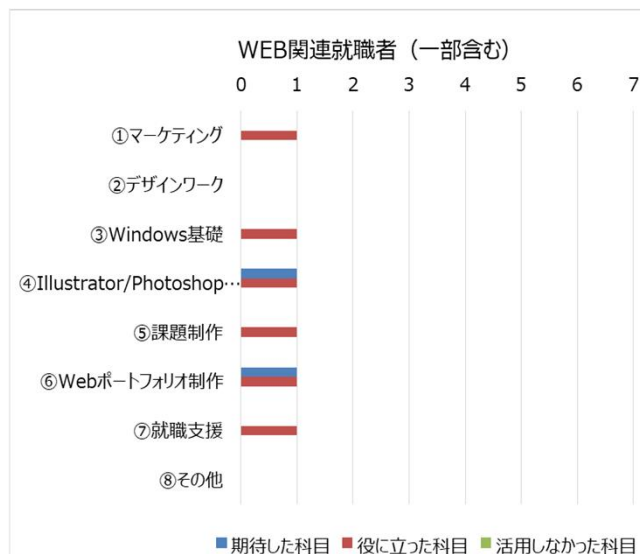
訓練修了者アンケート調査結果⑬ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

② 公共職業訓練 通所型・3か月



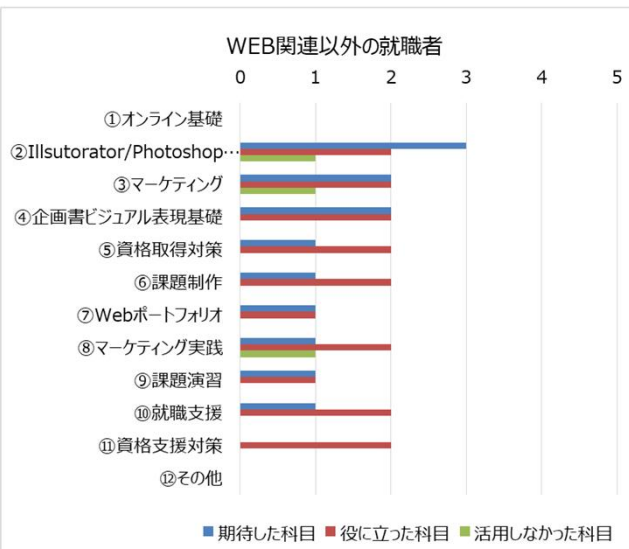
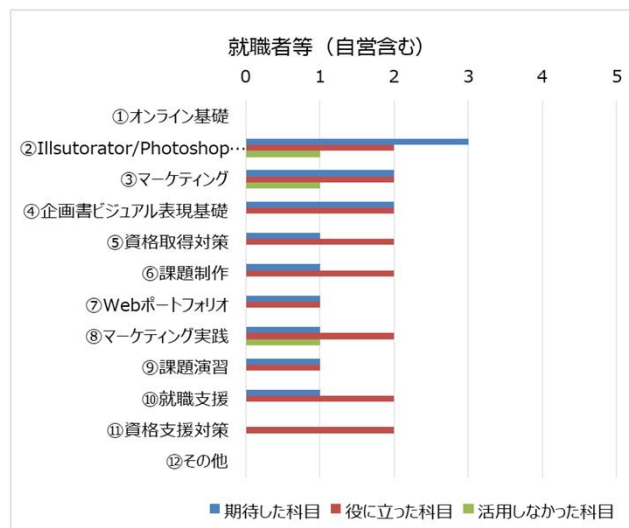
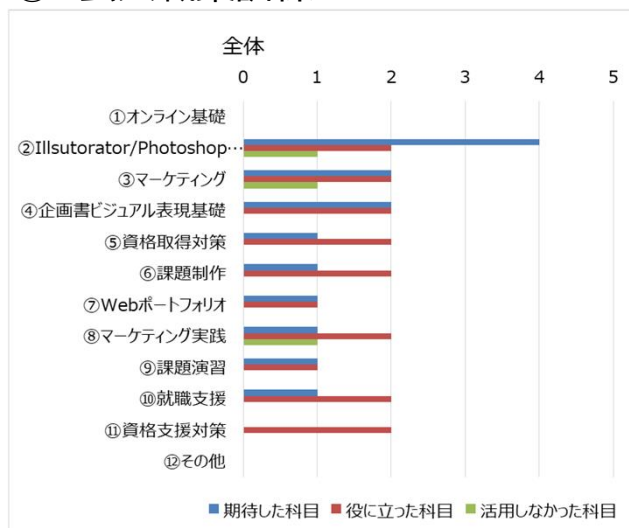
○Web関連就職者が少ないため比較検証困難。

○Windows基礎が「役に立った」とする者が多く、「期待科目」として多かった「デザインワーク」、「課題制作」を「役に立った」とする者は少ない。



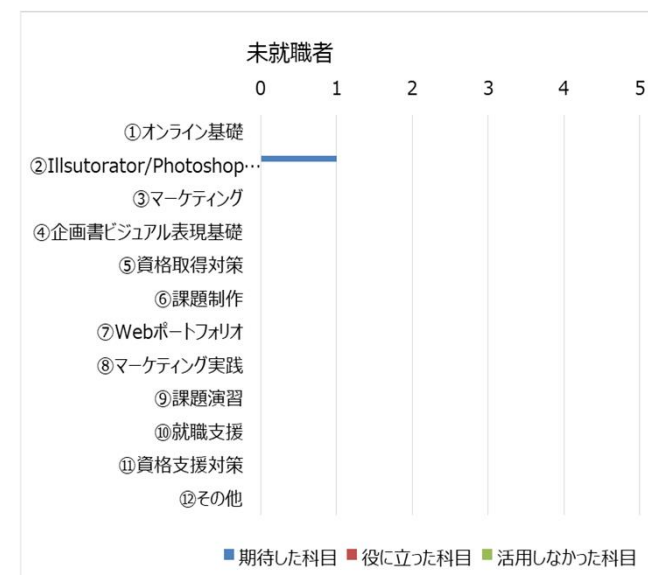
訓練修了者アンケート調査結果⑭ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

③ 公共職業訓練 オンライン・3か月



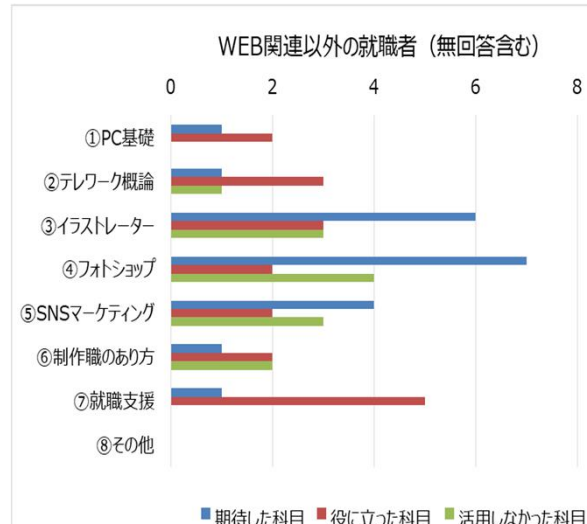
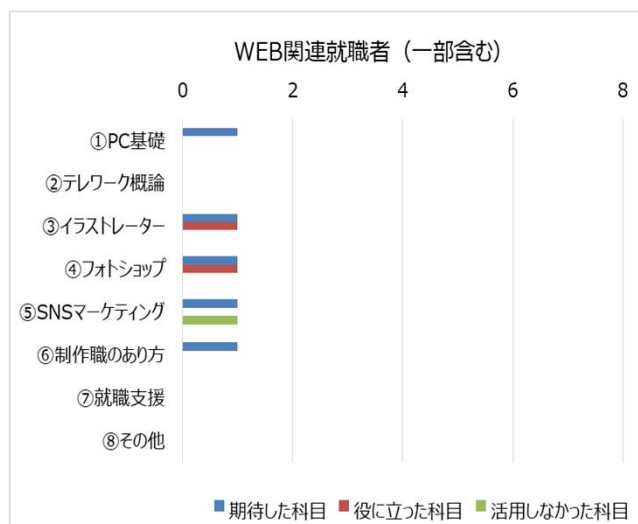
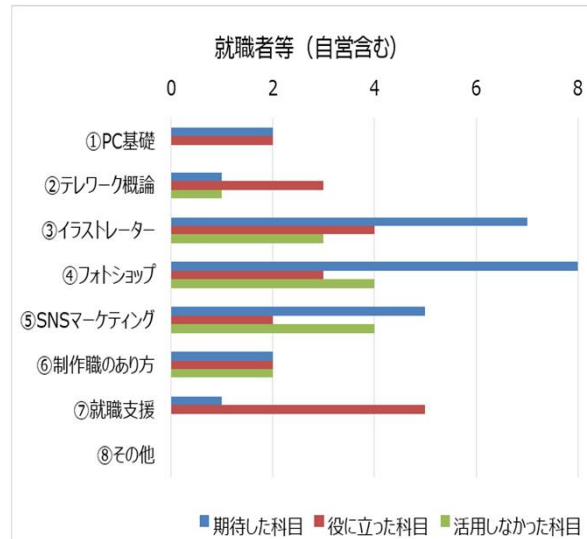
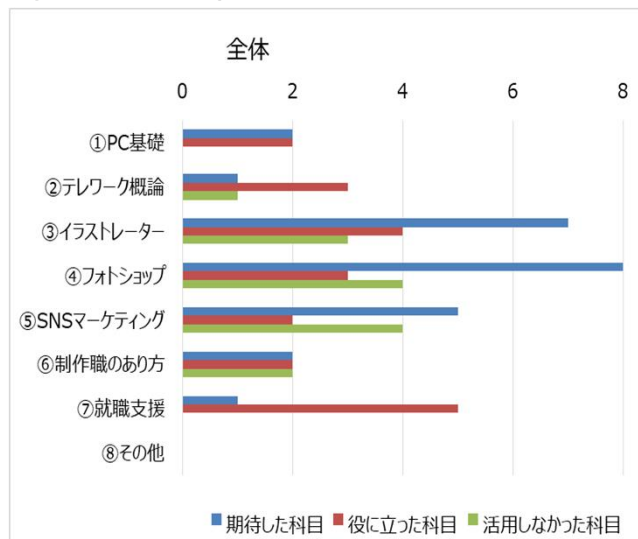
○アンケート調査回答者が少ないため参考集計。

○Web関連就職者がいないため比較検証できないが、半数の者が、全体として「役に立った」と回答。



訓練修了者アンケート調査結果⑮ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

④ 公共職業訓練 オンライン・3か月



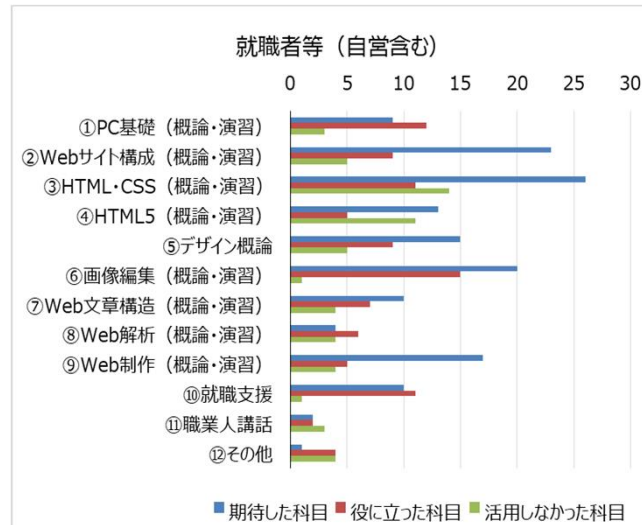
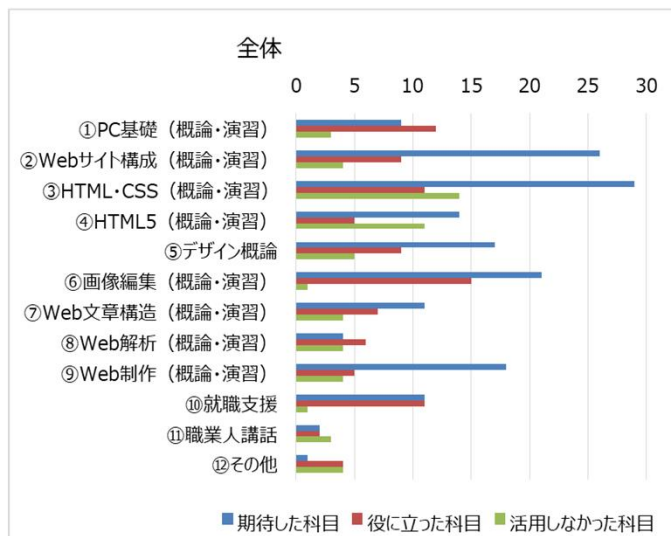
○Web関連就職者が少なく、また、Web関連以外の就職者について、イラストレーター、フォトショップの訓練に期待したが、実際は活用できていない者が多い結果となった。

○就職支援が役に立ったと回答する者が多い。



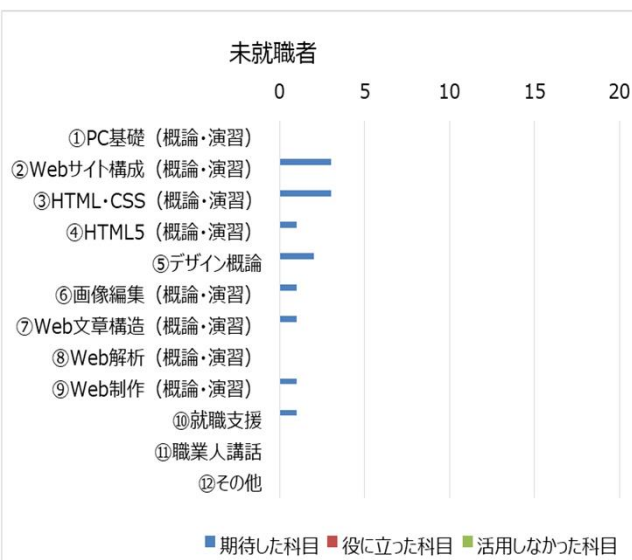
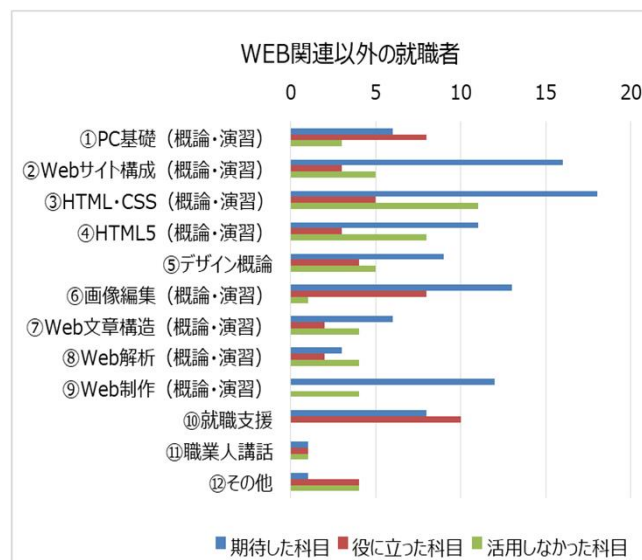
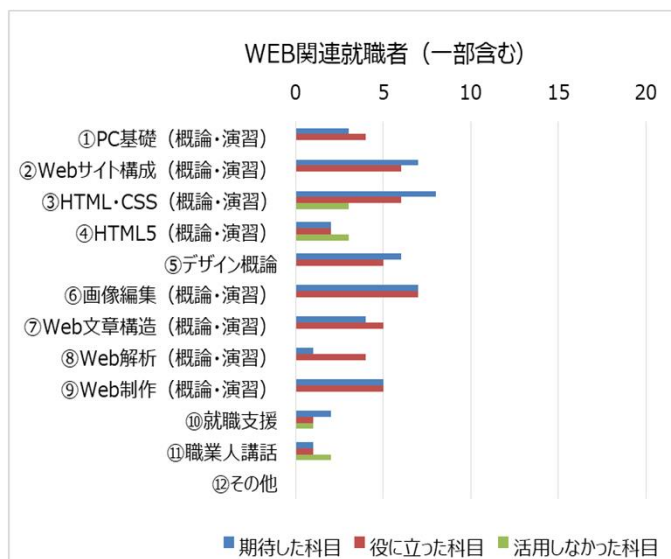
訓練修了者アンケート調査結果①⑥ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

A 求職者支援訓練 通所・5か月



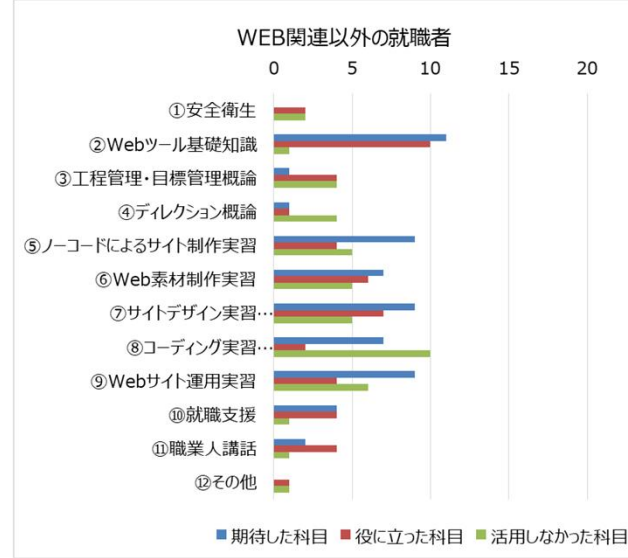
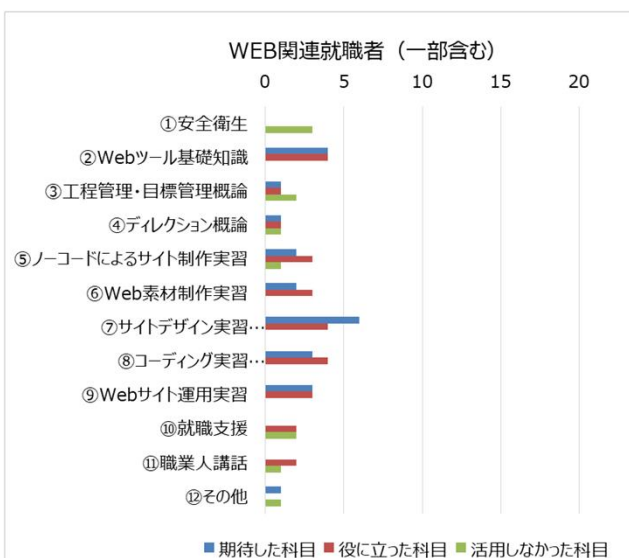
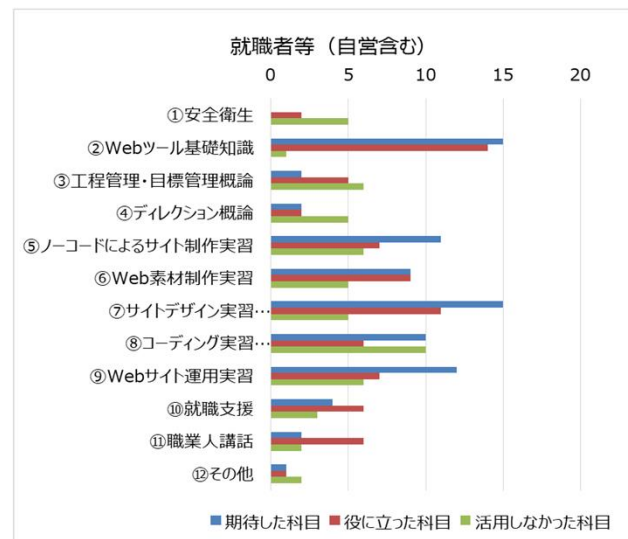
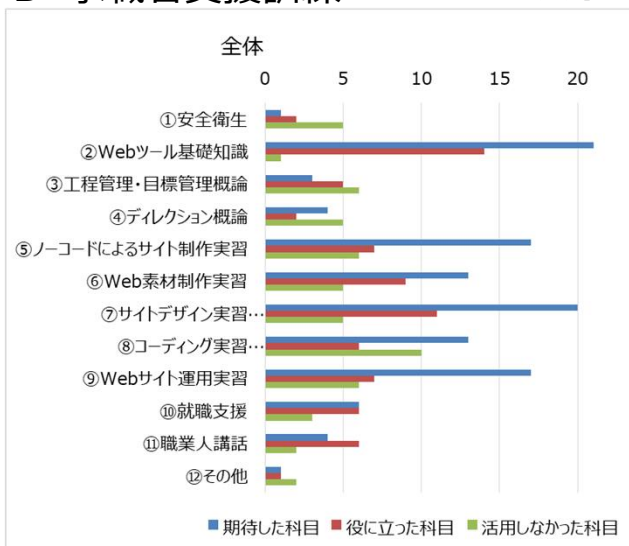
○Web関連就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が少ない。

○Web関連以外就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が大きい。



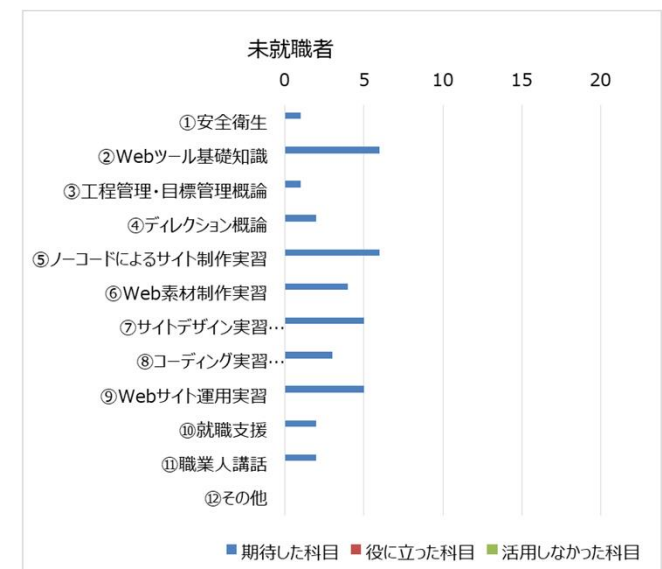
訓練修了者アンケート調査結果⑰ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

B 求職者支援訓練 eラーニング・2か月



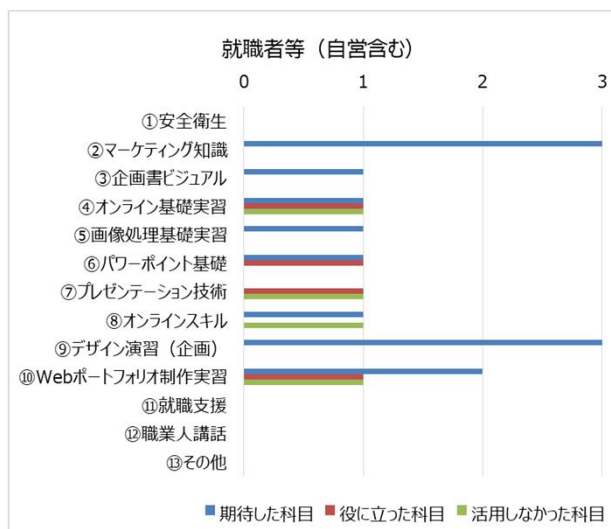
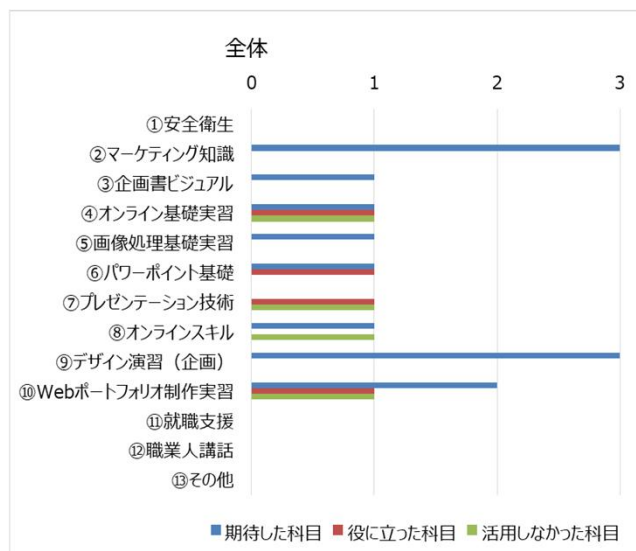
○Web関連就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が少ない。

○Web関連以外就職者においては、「期待科目」と「役に立った科目」を上げる者の数の乖離が大きい科目があり、また、「コーディング実習」など活用していなかったとする者が多い科目が見受けられる。



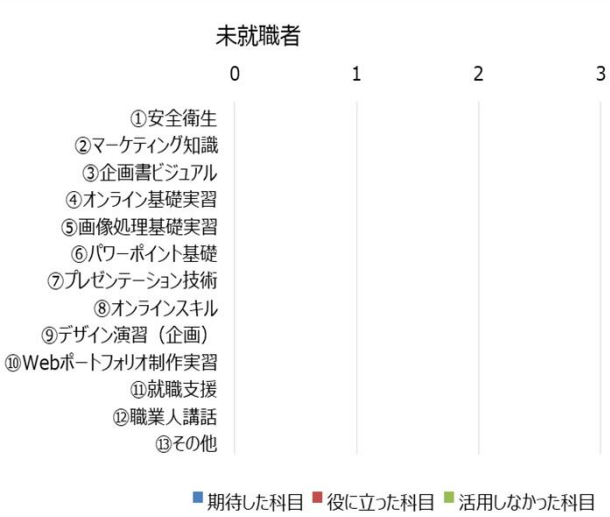
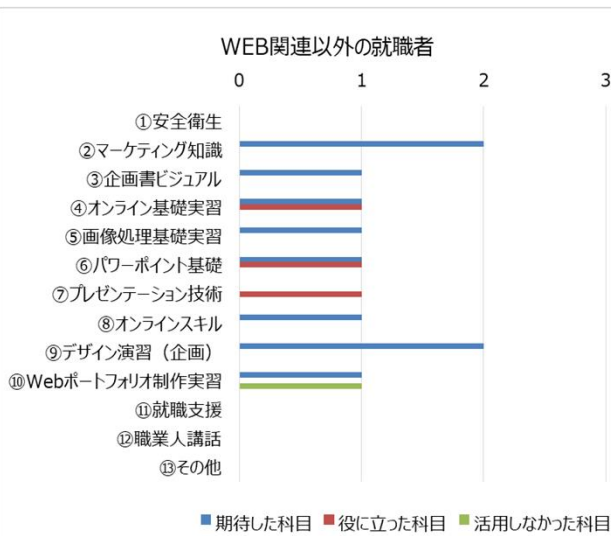
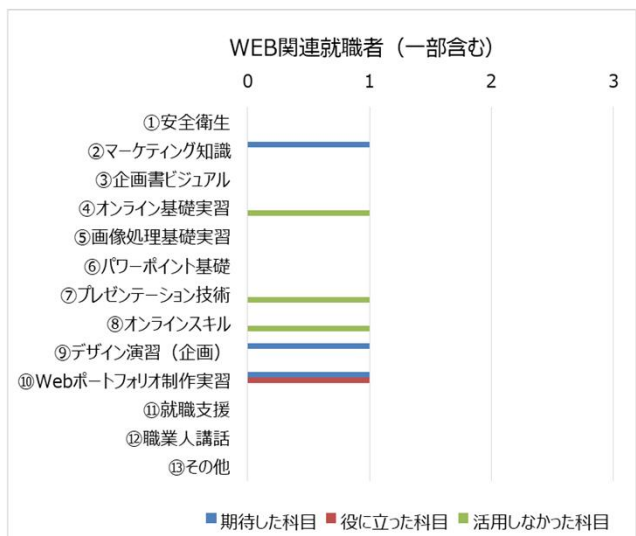
訓練修了者アンケート調査結果⑰ 訓練カリキュラムと就職の相関関係

C 求職者支援訓練 オンライン・短時間・3か月



○アンケート調査回答者が少ないため参考集計。

○「役に立った」と回答する者が全般的に少ない。



② 採用企業の声

1 求人募集の際に応募者に期待するスキルやレベル

- ・ 小規模なWebデザイン企業では受講者のスキル等が確認できる職場実習が有効。（採用につながる）
- ・ 他の業界の経験者は、その経験を強みにした制作を期待する。
- ・ Webデザインの基礎をしっかりと学び、デザインとコーディングの両方の知識・理解が重要。
- ・ Web業界は広範であり、特定の専門スキルを身につけると有利。
- ・ 現場で活躍するには、約3年の実務経験が求められる。
- ・ 均一なスキルの中で、独自のアイデアやビジュアルセンスを示すことが採用の決め手となる。
- ・ Webデザインに関するベースの知識があれば採用可能。
- ・ 経験やスキルよりも人柄や理解力の深さや速さが必要。問題が発生した際の対応力。

2 採用後に実務に役立てることができるカリキュラム

- ・ 訓練カリキュラムは、基礎的な部分を習うということについては問題は無く、Webデザインの導入として理解できる内容であり、採用後に実務に役立てることができる内容と思われる。
- ・ html、Photoshop、illustrator

3 訓練で習得しておくとう望ましいスキルや技能

- ・ 採用する企業へのアピール能力
- ・ illustrator、Photoshopについては、ライセンス料が高く使用している企業が減少しており、figuma、adobeXD（クロスデイ）などのソフトを使用する企業が増えている。
- ・ ショートカットキーの活用・効率化ツールを取り入れる 現場では、スピードや効率化を求められることがあり、ショートカットキーなどの効率化ツールを取り入れてもらうと良い。
- ・ コーディングのポートフォリオ 採否の判断をする際にポートフォリオなどの成果物があると判断がしやすい。
- ・ タイピングの早さやMOS資格 MOS資格についてはパソコン操作に長けていると言ったアピールになる。事務職で〇年の経験があるといったぼんやりとしたものより、具体的にこの資格があるといった方が判断しやすい。
- ・ Macの操作 「Macを使っていた（使える）」と言うとアピールになる。
- ・ 情報を扱うことの重要性や企業のコンプライアンスの重要性を認識することも重要。

② 採用企業の声

4 今後の業況を踏まえた訓練に対する意見

- ・カリキュラムの内容については問題ないが、訓練修了後すぐに採用となっても、即戦力にはならないので、現場で3年くらいは経験を積む必要がある。また、自分で本を購入するなどして勉強をする姿勢がある人は伸びる。
 - ・ Webデザインの仕事は幅が広いので、業務について細分化したコースがあっても良いのではないかと。(グラフィックデザイン、フロントエンド(コーディング)、システム運用、Webマーケティング(Webコンサルティング))
- ・ サイト解析、ログ解析、広告の設定などができる人材が少ない。
- ・ 東海エリアではフロントエンドのエンジニア人材が足りない。(HTML/CSS、JavaScript、PHP、JSPで実装できる人材)
- ・ 求人募集の際にはマスメディアといった求人サイトを活用している。
- ・ デュアル訓練6ヶ月の座学4ヶ月、職場実習2ヶ月というのはバランスが良い。
- ・ 業務で使用するソフトウェアのライセンス料が高く、人を採用すると人件費にライセンス料が上乗せとなる。
- ・ 仕事としてはテレワークができるので、パートナーが転勤するなどの状況変化があっても、仕事を継続できる。
また、テレワーク社員が増えるとその分広い事務所を確保する必要がなくなる。反面、テレワーク社員が増えると職場実習の際に面倒を見る者が確保できなくなり、今後受け入れをする際の課題となる。
- ・ 自身のポートフォリオを作成し、採用試験にアピールできる人、本を購入して自主的に勉強している人は就職してから伸びる。
- ・ HW経由で応募してくる人はITリテラシーが低い気がする。ITリテラシーが高い人は求人サイト等のWebを使って応募してくるので、HWにWeb関係の求人を出す企業は少ないと思う。HWもデジタル化をアピールし、DXのブランド化をしたらどうか。
- ・ 中小企業には人材育成のキャパシティがないため、「ココナラ」などのサイトで実績のある方を一本釣りするという話も聞かえる。
- ・ 自営業(個人請負)を始める人も多く、インボイス制度などの会社運営に関する基本的ビジネススキルや知識も重要になってくると思われる。
- ・ 営業経験のある人は、Webコンサルティングを検討すると良い。人材ニーズがあるものの、営業経験とWebの知識が必要となるための慢性的に人手不足の状態にある。

② 採用企業の声

（採用企業・派遣会社の意見）

- ・即戦力が求められており、業務繁忙が理由で募集されるので、企業側は教える手間をかけられない場合が多い。
- ・DTP系に強い会社に派遣を依頼する企業が増えていくと思うので、自社の頑張りや派遣就業者の頑張りにより実績を作ることによって派遣就業先（直接雇用の機会）は増えていくと思う。
- ・DTP系の派遣のオーダーがあった際は、職業訓練修了者等の実務経験が少ない者が就業できるよう、就業条件の緩和など働きかけている。
- ・派遣のオーダーはコロナ禍で一時的に減少したが、最近は大分回復してきた感じがある。
- ・Web関係を希望して派遣登録をする人は、在宅勤務に繋がることを想定しているもいる。短時間で在宅だから自分のペースでできると考えて希望する人も多く、就業先として在宅可能なものも増えてきている。
- ・事務職の派遣でも+αでクリエイティブな作業（HPの運営や管理など）を求めるものも出てきており、事務職で派遣就業する際にWeb系の作業もできるというのはすごくアピールになると思う。

③ 訓練実施機関の声（委託訓練）

1 訓練内容等など訓練実施のための工夫点

訓練の目標と内容（カリキュラム）の工夫

- ・プログラム未経験など初級者からでも理解できるようなカリキュラムとしているが、PCの基本操作がわからないと難しい。
- ・SNSマーケティングは法人で活用できることを前提にしている。
- ・ポートフォリオの作成を訓練の目標としている。
- ・Webサイトを見た時に修正変更ができることを目指す。
- ・カリキュラムの構成で、時間短縮できるものは短縮し、要望があったものを組み込むようにしている。
- ・労働市場を掘り起こすため検定資格取得を目指す方向に改良してきた。
- ・就職先が見込めるので、プログラミングなどのシステム開発カリキュラムの比重を重くしている。
- ・訓練期間が9ヶ月あると課題作成の時間が十分取れる。また、基本情報処理技術者などの資格取得を目指す時間がとりやすい。
- ・コンソーシアムカリキュラム活用コースについて、より充実した内容にするための見直しが行われている。

- ① 数値理解として「簿記」を入れていたが、「プロジェクト管理」としてシステム設計のコスト管理として学習する。
- ② PHP（サーバーサイドでWebページを作成するために試用するプログラミング言語）の時間を増加
- ③ 名古屋地域はAndroidアプリ開発は少ないので実務的なフレームワークのカリキュラムに変更
- ④ クラウドについて知識習得は必須なので寡黙として明示化
- ⑤ 近年使われなくなったソフトウェアは削除 など

オンラインコースについて

- ・月80H、3ヶ月240Hで実施。期間の長さとしては、基礎を身につけることを目的とするなら4ヶ月位が良いのかも知れない。
- ・在宅勤務を希望する方の環境的に、子供などの世話や健康上の負担などを考えると、1日4Hという長さは適切だと思う。

使用ソフトについて

- ・Photoshopについては、携帯アプリで簡単にできることを難しく作業していると感じている訓練生もいる。詳細な作業はPhotoshopでないとできない。（AIの活用が増えることが予想される）
- ・illustratorはバナー作成などができるので今後も付加価値がある。

◎ 1 訓練内容などで工夫している点のまとめ

- ・Webデザイン業界ではコーディングができる人材が足りないので、実技課題を多く設けている。
- ・オンラインコースは在宅勤務を想定し家庭環境などを考慮すると有効である。
- ・中小企業ではデザインを専門にする部署がなく、また高額なソフトライセンス料の負担も厳しいので、無料ツールが使えると重宝する。

③ 訓練実施機関の声（委託訓練）

2 就職支援状況

- ・当校主催の企業説明会を実施している。毎回15, 6社の参加希望がある。
- ・自己実現のためのルート（方法・手段）は多くあると伝えている。
- ・時間を守る、あいさつができる等のビジネスマナー（当たり前のこと）がしっかりできることが必要。
- ・有資格者のキャリアコンサルタントがキャリアの棚卸しを行い、就職支援担当者が就職に向けた面談や企業情報提供などを行っている。
- ・訓練生には業界研究をしっかりおこなうように伝えている。また、気になった会社には積極的に応募し面談を受けることで、第一希望の面接に失敗しないように備えることを伝えている。

◎ 2 就職支援状況のまとめ

- ・キャリアカウンセリングは「傾聴」が基本だが、相談時に制度上のバイアス（雇用期間等）がかかってしまう。
- ・Webデザインの募集の応募する際に「経験値」を見られてしまうので「IT業界全般」に視野を広げて考えるように伝えている。
- ・キャリアコンサルタントから専門的な就職支援を行い、就職支援担当者から面接対策や業界情報の提供を行うなど役割を分担して支援を行っている。

③ 訓練実施機関の声（求職者支援訓練）

1 訓練実施のための工夫点（訓練内容、実施場所、実施時期など）

訓練内容（カリキュラム）について

- ・学科と実技の時間配分は1:2で、座学よりもPC操作の時間を多く設けている。
- ・現場で実務経験のある講師が担当。基本的には当校の講師がメインだが、他の仕事を持つ講師もいる。
- ・各コースごとに同じ講師が最初から最後まで担当する。
- ・業界の進展に応じてカリキュラムを講師と相談して決定。最近はSNS向けの短い動画編集も取り入れている。

ソフトウェアについて

- ・現場では古いソフトを使用している企業が多く、新しいソフトは就職後に自分で学ぶ必要があるという意識付けを行っている。
- ・Webデザイナーの仕事ではないが、IllustratorやAfter Effectsなどのソフトも使用する。

テキストの工夫

- ・受講生の負担を考慮し、業界の実情に合ったオリジナルテキストを使用。

受講定員

- ・定員は約30人が理想で、少人数だと受講者間での関係構築が難しくなる。

PC環境

- ・使用するPCは消耗品で、数年ごとに更新。ただし、常に最新スペックではないことを伝えている。

実施施設の状況について

- ・入居ビルは古く、OAフロアでないことや空調の効きが悪い点を正直に伝えている。

訓練期間について

- ・5ヶ月という期間については、知識の部分は短くすることはできるが、人との関わりの部分は自学自習も含めてそれぞれでやることが多くなってきて、やりきれなかった部分のサポート的なところがあればと思うのもっとやりたいという思いはある。一方であまり長いと間延びしてしまうと感じる人もいる。

◎ 1 訓練内容などで工夫している点のまとめ

- ・業務の現場では古いソフトを使用しているところが多いため、あえて、古いバージョンのソフトを試用し、新しいソフトは就職後に習得するようにしている。
- ・5ヶ月という期間は、やりきれなかった部分のサポートのサポートができればと思う反面、間延びしてしまい、勉強することが目的になってしまう人もいる。
- ・デザインだけでなく、+αのスキルで就職できるようにSNSマーケティングや動画編集も盛り込んでいる。

③ 訓練実施機関の声（求職者支援訓練）

2 就職支援状況

- ・ 毎月実施しているが、夏や年末年始は応募者が少なく、同時期の修了者が多いと企業が休みの日が多く就職者が少ない。
- ・ PCスクールとは違うので就職という意識を保つのが難しく、長くすると勉強することが目的になってしまう人もいる。
- ・ デザインに関する内容だけでなく、+αのスキルで就職するケースがあるので、SNSマーケティングや動画編集も盛り込んで就職を目指している。
- ・ キャリアカウンセラーは2名体制で、期間中に実施する3回は同じカウンセラーが対応することになっている。形式的な内容になってしまうので、講師や職員からの普段からの声かけが大切だと思っている。その中で気づいたこと（体調や悩みなど）があれば、生徒には特に伝えていないが職員・講師・カウンセラーで共有して、それとなく相談しやすい環境にしている。
- ・ 応募先について、先生に言われたから行ってみたというようにならないように、自分自身で決めたことを尊重するようにしている。
- ・ 就職支援として、放課後に会社説明会を実施している。求人をいただいている事業所などに声かけをして参加企業を募っている。参加企業にもよるが、1回あたり20名くらいの参加（Web系の企業だと30名以上）があり、そこから詳しく話を聞きたいとして応募するケースもある。
- ・ 求人情報などについては、ホールなどの受講生の目に触れるような場所に掲示している。HWなどが主催で開催する就職フェアなどの情報も積極的に掲示し、常に就職を意識する環境を作っている。

◎ 2 就職支援実施状況のまとめ

- ・ 訓練機関独自で会社説明会を実施し、一定の効果を上げている。
- ・ キャリコンは形式的になってしまうので、就職支援は講師はじめ職員全体で受講生にできるだけ声かけを行い、内省することで方向性を自分で選択するように促している。
- ・ 校内ホールの掲示板にHWや民間の求人情報を掲示し、誰でも見られるようにしている。

③ 訓練実施機関の声

3 訓練実施機関から国や訓練認定機関に対する要望意見

【公共職業訓練（委託訓練）】

- ・就職支援経費の対象就職者について雇用期間（常用就職・4か月雇用期間）ではなく雇用保険加入＋技能活用を基準としてほしい。
- ・就職支援費対象就職率を求職者支援訓練と同じ55%以上としていただきたい。
- ・委託費では、デザイン分野は+aの給付が認められるようになったが、その分野に該当しないと認められない。委託費の額は何年もほとんど変わっておらず、支出となる講師への賃金、ライセンス料などは増加している。委託費が増えないと訓練の実施を継続が困難となる。
- ・キャリアコンを専属雇用している場合は加点となるなど配慮してほしい。
- ・IT系の就職は民間の求人サイトを利用することが多い。求人サイトは情報量が多いが、求人条件などの信頼性は低い。HWの求人は数は少ないが情報の信頼性は高い。

【求職者支援訓練】

- ・Webデザインは就職の幅が広く「就職状況報告書」による本人申告では、関連就職ではないと記述があっても、掘り下げていくと関連しているところもあり判断が難しい。
- ・修了後3ヶ月以内の就職が難しく未就職となる人が多い。「また働き出すことが怖い」「訓練がずっと続けば良い」と現実から目を背けたいと思う人が多い。
- ・受講生分のPC台数の確保や同じ台数分のソフト使用ライセンス料など負担があり、また、運営維持管理に関する物価の高騰や人件費が上がっていて、運営が難しくなっている。
- ・毎年、奨励金（委託費）の支給額を見直し、現実との乖離を解消してほしい。

効果検証により見えてきた課題等

効果検証結果①（訓練受講者・応募倍率）

○受講動機「興味があった」とする者が約9割

- ・訓練受講動機は「興味があった」とする者が約9割（86.1%）占めており、「就職に有利」（36.6%）とする者を大幅に上回っている。

○「業界情報」を必要と感じる者が約4割

- ・就職に必要なこととして、「業界情報」を上げる者（40.0%）と多く、また、訓練で学んでおくべきことにおいても「業界情報」を上げる者（22.8%）が最も多かった。

○「Web関連以外の就職者」が約7割

- ・今回の調査では、就職率は約8割（79.2%）と高率であったが、その内訳として、Web関連以外の就職者が約7割（67.1%）を占め、就職後に訓練で習得した知識等が活用されていない状況であった。

○求人応募不調理由の約3割が「スキル経験不足」

- ・また、求人応募不調者の不調理由について、約3割（32.7%）が「スキル経験不足」と回答があった。

訓練受講者の実像（推察）

○漠然としたイメージ、自己のペース、テレワークで仕事ができる、SNS発信に役立つなどにより訓練に関心を持ち訓練を受講。

○業界情報、企業が求める知識水準、人材ニーズなどの情報が不十分であることにより、スキル習得の目標が定まらず、訓練内容の習得に個人差が生じている。

○興味優先による受講した者のうち、訓練カリキュラムが思い描いていたものとは異なることに戸惑う者が一定数いると思われる。

○訓練で得た知識がその後の就職に活用できていない。

効果検証により見えてきた課題等

効果検証結果②（訓練カリキュラム）

○訓練期間「短く感じた」者が約4割

・訓練期間について「ちょうどよかった」とする者が約5割、「短く感じた」とする者が約4割。通所型、長期間の訓練コース（5～6か月）において、その印象を持つ者が多い傾向。また「訓練時間」「時期」はちょうど良いとする者が大半（8割以上）占めた。

○Web関連就職者の多くが訓練科目「役に立った」

・Web関連就職者について、訓練科目について「習得を期待した」科目と「役に立った」とする科目の乖離が少なく、就職後の業務に訓練で学んだ知識等を活用していることがわかった。一方、Web関連以外の就職者においては「期待」と「役立ち」の乖離が大きかった。

○「最新ソフト」「他のソフト」を要望する声が約2割

・「最新ソフト」（16.8%）「他のソフト」（17.8%）を要望。

○「業界情報」を要望する声が約2割

・訓練で学ぶべきこととして約2割（22.8%）の者が「業界情報」を上げた。

○訓練施設のキャリアコンサルティング約9割が有効

・約9割（86.1%）の者が訓練施設のキャリアコンサルティングが有効だったと回答。

カリキュラムの総括

○訓練期間「短く感じた」者は、通所型、長期コース受講者が多く、訓練実務に触れ、求められるスキルを実感し、到達点など意識されたことによるものと思料。5割が「ちょうど良い」との意見。

○Web関連就職者において、訓練で得た知識を就職後の業務遂行に活用しており、現状のカリキュラム（キャリアコン含む）は有効なものと判断できる。

○一方、最新ソフト、他のソフトを要望する声があり、広く活用され実用性の高い無料ソフトなどの操作習得要望があった。それらは幅広い業務に対応し実務能力を高めるために有効。

○「業界情報」は企業ニーズを知ることにより、スキルの到達点を理解し、目的意識醸成になるため、訓練カリキュラムに反映することは有効と思われる。

効果検証により見えてきた課題等

効果検証結果③ （求人応募状況等）

○就職経路 約 5 割「民間求人サイト」 約 2 割「ハローワーク」

・ 求職活動にハローワークを利用した者は約 7 割（74.3%）となったが、就職経路は、民間求人サイトが約 5 割（48.8%）、ハローワーク経由約 2 割（16.3%）となった。ハローワークには希望求人が少ないとの声あり。

○求人応募不調理由の約 3 割が「スキル・経験不足」

・ 求人応募不調者のうち約 7 割（66.7%）が関連就職を目指したが、うち約 3 割（32.7%）が「スキル・経験不足」を理由に不採用となった。

○未就職理由 約 6 割「個人的都合」、約 3 割「活かせる仕事なかった」

・ 未就職理由を「個人的都合」者が約 6 割（60.0%）であり、また、オンライン・eラーニングコースにおいては約 7 割（70.0%）の者が同理由をあげている。次いで「活かせる仕事がない」が約 2 割（26.7%）となった。

○就職には「訓練内容ブラッシュアップ」「業界情報」が必要との声それぞれ 4 割

○就職には、「訓練内容をブラッシュアップ」（45.0%）、「業界情報」（40.0%）が必要とする声が多く、通所型、訓練期間 5～6 カ月のコースの受講者ほど「業界情報」を必要とする結果となった。

求人応募における課題

○ハローワークにおいて、Webデザイン系の求人が少ないことにより、民間求人サイト利用者が多くなっている。

○短期間の訓練で習得できるスキルには限界があり、また個人差がある。全般的に訓練受講者は「スキル・経験不足」となるものであり、これらの者の受け入れられる求人（訓練修了者歓迎）の確保が課題。

○訓練により得られたスキルにより、Webデザイン業界以外の業界でも活躍できる機会があると思われる。求人・企業情報の収集、ブラッシュアップを図り、受講者へ情報提供していく必要があること。

○オンライン・eラーニングコースの受講者は、「個人的都合」（家庭事情等）を抱える者が多く、未就職の要因になっている。個々の事情に応じた個別支援が必要。

○早い段階で「業界情報」を提供し、就職に向けての意識付けが重要。

効果検証を踏まえた次年度以降の取組等

効果検証結果①（訓練受講者・応募倍率）

- 受講動機「興味があった」とする者が約9割
- 「業界情報」を必要と感じる者が約4割
- 「Web関連以外の就職者」が約7割
- 求人応募不調理由の約3割が「スキル経験不足」

・漠然としたイメージ、自己のペース、テレワークで仕事ができる、SNS発信に役立つなどにより訓練に関心を持ち訓練を受講。

・業界情報、企業が求める知識水準、人材ニーズなどの情報が不十分であることにより、スキル習得の目標が定まらず、訓練内容の習得に個人差が生じている。

・興味優先による受講した者のうち、訓練カリキュラムが思い描いていたものと異なることに戸惑う者が一定数いると思われる。

・訓練で得た知識がその後の就職に活用できていない。

○ハローワークにおけるコンサルティング強化

○効果検証結果について、ハローワークと共有することとし、ハローワークにおいては、効果検証結果及び以下を踏まえ、受講あっせん前、受講中段階において適切なコンサルティングを実施すること。

（目的の明確化）

・知識スキル等の習得には個人差が生じやすい。業界情報等の理解が十分でない者も多いことから、「業界情報」などを把握・理解し、明確な目的意識を持って訓練を受講することが重要となること。

（学習意欲の喚起）

・訓練修了後、Web関連職種に就職した者は、就職後も訓練で得た知識スキルを活用している者が多く、就職後の業務遂行に有効なものになっていること。

・訓練カリキュラムを習得することが、採用、就職後の業務遂行につながっていくものであること。

効果検証を踏まえた次年度以降の取組等

効果検証結果②（訓練カリキュラム）

- 訓練期間「短く感じた」とする者が約4割
- Web関連就職者の多くが訓練科目「役に立った」
- 「最新ソフト」「他のソフト」を要望する声が約2割
- 「業界情報」を要望する声が約2割
- 訓練施設のキャリアコンサルティング約9割が有効

・訓練期間「短く感じた」者は、通所型、長期コース受講者が多く、訓練実務に触れ、求められるスキルを実感し、到達点など意識されたことによるものと思料。5割が「ちょうど良い」との意見。

・Web関連就職者において、訓練で得た知識を就職後の業務遂行に活用しており、現状のカリキュラム（キャリアコン含む）は有効なものと思料できる。

・一方、最新ソフト、他のソフトを要望する声があり、広く活用され実用性の高い無料ソフトなどの操作習得要望があった。それらは幅広い業務に対応し実務能力を高めることに有効。

・「業界情報」は企業ニーズを知ることにより、スキルの到達点を理解し、目的意識醸成になるため、訓練カリキュラムに反映することは有効と思われる。

○訓練カリキュラムの取組

○訓練期間について、「短く感じた」と「ちょうど良い」との意見が拮抗しており、継続検証する余地は残るが、訓練時間・訓練時期は適当との意見が多く、訓練日程としては概ね妥当と思料する。

○Web関連就職者においては、就職後の業務遂行に訓練で学んだ知識等が「役に立っている」者が多く、現行、訓練カリキュラムは有効なものと思料する。

○「業界情報」は、就職への意識を喚起し、訓練習得の到達点の理解、目的意識醸成のために重要な情報。職業講話等の機会により、早い段階から定期的に情報提供できるカリキュラムとする必要がある。

○企業ヒアリングの中で、最新ソフトの使用可否は必ずしも重要視されるものでないことを確認。一方、実務の中で広く利用される汎用性・実用性の高い無料ソフトなどは、幅広い実務の中で活用機会が想定され、習得により実務能力の向上などの効果が期待できるため、カリキュラムへの導入を検討することが妥当と思料する。

効果検証を踏まえた次年度以降の取組等

効果検証結果③（求人応募状況等）

- 就職経路 約 5 割「民間求人サイト」約 2 割「ハローワーク」
- 求人応募不調理由の約 3 割が「スキル・経験不足」
- 「Web関連以外の就職者」が約 7 割
- 未就職理由 約 6 割「個人的都合」、約 3 割「活かせる仕事なかった」
- 就職には「訓練内容ブラッシュアップ」「業界情報」が必要との声それぞれ 4 割

・ハローワークにおいて、Webデザイン系の求人が少ないことにより、民間求人サイト利用者が多くなっている。

・短期間の訓練で習得できるスキルには限界があり、また個人差がある。全般的に訓練受講者は「スキル・経験不足」となるものであり、これらの者の受け入れられる求人（訓練修了者歓迎）の確保が課題。

・訓練により得られたスキルにより、Webデザイン業界以外の業界でも活躍できる機会があると思われる。求人・企業情報の収集、ブラッシュアップを図り、受講者へ情報提供していく必要があること。

・オンライン・eラーニングコースの受講者は、育児・介護等の事情を抱える者が多く、時間的制約などから未就職の要因になっている。個々の事情に応じた個別支援が必要。

・早い段階で「業界情報」を提供し、就職に向けての意識付けが重要。

○就職支援に係る取組

○ハローワークにおいて、企業における公的職業訓練の認知の向上に取り組み、訓練修了者（スキル・経験不足する者）を歓迎する求人の確保に取り組むこと。

○訓練修了者は得られたスキルの活用により、Webデザイン業界以外の業界でも活躍できる機会があると思われる。ハローワークにおいて、求人・企業情報の収集、デジタル人材の採用意向など、ブラッシュアップし、受講者へ情報提供に取り組むこと。また、「jobtag」を活用しつつ、就職支援の早い段階で具体的な「業界情報」を提供していくこと。

○オンライン・eラーニングコースの受講者は、育児・介護等の事情を抱える者が多いことから、ハローワークにおいては、それらを踏まえた個別の就職支援に取り組むこと。

効果検証を踏まえた次年度以降の取組等

その他（訓練実施機関における体制確保）

○物価高による設備維持に係る費用の上昇、人件費の確保等

- ・ 安定的に訓練を実施していくためには、物価高による設備費用等の上昇への対応及び講師等の人件費を確保していく必要がある。
- ・ また、訓練内容を充実（就職に資する効果的なソフトの導入等）していくことも必要であり、これらに対応していくためには、物価、賃金等の上昇に応じた委託費、奨励金等の額に改定する必要がある。
⇒厚生労働省へ要望することが必要。